

# 高等専門学校機関別認証評価

## 自己評価書

令和7年6月

阿南工業高等専門学校

- ・自己点検・評価結果欄の各項目のチェック欄で「・・・していない」等にチェック(○)した場合は、自己点検・評価の根拠資料・説明等欄に、その理由等を記述すること。
- ・チェック項目が口及び黄マーカで表示されており、(すべての項目にチェック必須)と記載のある項目は、当該基準を満たすために、全てにチェックが入る必要がある。
- ・(複数チェック☑可)と記載のある項目は、チェック対象事項すべてに関して対応状況の説明を求めるものではない。該当する箇所にもみ、それぞれチェックを入れること。
- ・自己点検・評価の根拠資料・説明等欄の記号は次のとおり。
  - ◇: 明示している根拠資料については、該当資料名、資料番号を記入すること。資料は、該当箇所がわかるように(行の明示、下線や囲み線を引くなど)して、まとめて自己評価書「根拠資料編」として作成すること。資料を、ウェブサイト等で公表している場合には、ウェブサイト公表資料と付した上で、当該ページを印刷した資料(該当資料名、資料番号を記入)及びそのURLを欄中に貼付すること。  
なお、観点4-1-①はURLのみ、観点4-5-①は別紙様式のみとすることも可とする。
  - ◆: 資料等を基に自己点検・評価の項目に係る状況を記述すること。  
(取組や活動の内容等の客観的事実について具体的に記述し、その状況についての分析結果をその結果を導いた理由とともに記述。)  
記述は、できるだけ簡潔にし、分量は、200字程度を目安とすること。なお、「・・・場合は、」とあるものについては、該当する場合のみ記述すること。  
また、根拠資料の資料名、資料番号を記入すること。
- ・根拠資料のみでは、内容が伝わりにくい場合は、自己点検・評価の根拠資料・説明等欄もしくは根拠資料内に簡単な補足説明を加えること。

## I 高等専門学校の現況及び特徴

(1) 現況	
1. 高等専門学校名	阿南工業高等専門学校
2. 所在地	徳島県阿南市見能林町青木265
3. 学科等の構成	準学士課程:創造技術工学科 専攻科課程:創造技術システム工学専攻
4. 学生数及び教員数 (評価実施年度の5月1日現在)	学生数:841人 教員数:専任教員56人 助手数:0人

## (2)特徴

## 1. 学校の沿革

阿南工業高等専門学校(以下、「本校」という。)は、昭和38年度に機械工学科及び電気工学科の2学科により開校した。昭和42年度には土木工学科を設置し3学科体制となった。平成元年度に機械工学科(2学級)を機械工学科(1学級)と制御情報工学科(1学級)に改組し、機械工学科、電気工学科、制御情報工学科、土木工学科の4学科体制となった。その後、平成5年度に土木工学科を建設システム工学科へ、平成14年度に電気工学科を電気電子工学科へ改組した。平成26年度に4学科を創造技術工学科に統合し、さらに地元企業の強い要望より化学分野を加えた1学科5コース制(機械コース、電気コース、情報コース、建設コース、化学コースの5コース、総称して本科という)に改組した。

平成8年度に構造設計工学専攻及び電気・制御システム工学専攻の2専攻からなる専攻科を設置した。構造設計工学専攻は、機械工学科及び建設システム工学科の卒業生を主に受け入れ、電気・制御システム工学専攻は電気工学科(平成14年度からは電気電子工学科)及び制御情報工学科の卒業生を主に受け入れてきた。平成31年度には本科・創造技術工学科の1学科制に対応させるため、2専攻から1専攻4コース制(創造技術システム工学専攻の下、機械システムコース、電気電子情報コース、建設システムコース、応用化学コースの4コースを設置)に改組した。

平成14年に、本科4、5年次及び専攻科2年間の4年間にわたる「創造技術システム工学」教育プログラムを策定し、平成16年、日本技術者教育認定機構(JABEE)により、工学(融合複合・新領域)関連分野において、同教育プログラムがJABEE認定基準に適合していると認められた。平成21年、27年及び令和4年に継続審査を受け、教育プログラムの適合が認められた。また、平成27年には特例適用専攻科となり、修了生はこの特例適用の下で機械工学、土木工学、電気電子工学の学士の学位が授与されることとなった。令和4年には新しく設置された応用化学コースに対しても特例認定を受けた。

## 2. 理念及び本校の特徴

本校は、徳島県や地域産業界からの強い要望に応え、実践的技術者を育成する高等教育機関として設立された。その後、産業構造や社会情勢の変化に対応するための改組を繰り返し、平成26年には地域からの要望により化学コースを新設し、学科の大括り化により1学科5コース制に改組した。

この再編は、最近の科学技術分野における融合化・複合化、さらに情報化社会の著しい発展に対応するために行ったものである。その理念は、自身の専門分野だけではなく幅広い工学の知識を身に付け、コミュニケーション能力、情報処理・ICT利用能力などを背景に、将来、創造的なものづくりや課題解決ができ、国際的に活躍できる技術者を養成することである。これに基づき、本校の教育目標を「専門分野に関する確固たる知識をベースとして持ち、その方法論・実践力を創造的に活用できる技術者」(本科)、「専門分野に関する確固たる知識をベースとして持ち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる技術者」(専攻科)の育成を目指して定めている。

本科の1学科5コース制の特色は次のとおりである。

- ・1年次では共通のカリキュラムによって一般教養科目と機械・電気・情報・建設・化学のすべての分野の基礎実習を受けることができる。専門コースへの配属が2年次への進級時に決定する。

- ・情報処理に関する基礎的知識や情報倫理を学ぶ「情報リテラシー1」を1年次に、「情報リテラシー2」を2年次に開講している。3次元CADを用いて製図法を学ぶ「デザイン基礎」を1年次の専門共通科目として配当し、2年次以降は各コースの教育内容に即して情報処理・プログラミング教育を実施している。

- ・企業等での就業を通して技術的視野を広げ、複合融合知識の重要性を認識させる「インターンシップ」を配置している。

- ・一般教養科目における語学教育として、必修科目18単位、さらに選択科目4単位の英語科目に加え、複数言語から1言語を選んで受講できる「第二外国語入門」を設定している。

専攻科は「創造技術システム工学」教育プログラムに基づき、本科に比べより専門的な知識と技術を学ぶ教育課程である。その特色は次のとおりである。

- ・定員は16名であり、少人数教育によるきめ細かな教育研究指導を実施している。

- ・夏季休業期間を利用して海外協定校へ留学が可能である。

- ・修了には研究成果を論文にまとめ、学会等で発表することを必要としているため、研究の過程を一通り学ぶことが可能である。

地域社会との連携では、地域連携・テクノセンターを置き、共同研究や受託研究などの産学連携活動を推進している。また、平成7年に阿南工業高等専門学校を支援する企業等で組織した「ACTフェロシップ」が発足した。令和5年にACTフェロシップは阿南高専科学技術振興会(AST)に名称を改めた。地域連携・テクノセンターとASTが連携し、講演会や研究報告会の開催、学内研究者との交流会などを行い、地域企業との関係強化を図っている。

国際交流については、社会の一層のグローバル化に対応し、異なる文化を背景に持つ人々とともに仕事ができる真の国際人の養成を行うため、平成21年に国際交流室（現在のグローバル推進室）を設置した。グローバル推進室では、海外の大学等との学生相互派遣などに関する協定の締結を積極的に推進し、これまでに海外の14機関（アメリカ、ドイツ、韓国、ベトナム、インドネシア、台湾、ニュージーランド）と締結した。さらに、本校学生の海外インターンシップ・語学研修のサポート、海外からの留学生の受入・支援プログラム等の充実も図っている。

## Ⅱ 目的

### 1. 使命

本校は、校訓「真理・創造・礼節」を核に、この校訓を尊ぶ学生を育成することを使命としている。すなわち、本校教育により、「学生は、将来、有為な技術者として崇高な衿持と旺盛な責任感を持ち、国家社会のために貢献しうる人物となるため、① 真理を愛し、科学的叡智の円満な発達を心掛ける。② 学業に専念するとともに規律を重んじ、礼儀を厳正にする。③ 勤労に親しみ、強固な意志と頑健な身体を鍛錬する。」ことを達成することを目指している。

### 2. 目的

#### 2.1 学校の目的

本校は、教育基本法の精神に則り、及び学校教育法に基づいて深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

(阿南工業高等専門学校学則第1条)

#### 2.2 準学士課程の目的

学科における教育目的は、次のとおりとする。

創造技術工学科は、社会人・職業人として必要な一般教養と国際化対応能力、工学分野のものづくりに共通して必要な基礎的知識・技術と情報処理能力、核となる分野に関する知識・技術と他分野の専門知識を教授し、様々な産業分野で幅広い課題について解決あるいは対応できる人材の育成を目的とする。各コースの核となる知識・技術とは次のとおりとする。

(1) 機械コースは、機械の力学、加工、材料及び制御に関する機械工学の知識と技術、機械システムの設計と製造で必要とされる実践的な知識と技術とする。

(2) 電気コースは、電気エネルギーから電子情報通信に及ぶ電気電子工学の知識と技術、電気・電子回路の設計・製作・解析で必要とされる実践的な知識と技術とする。

(3) 情報コースは、コンピュータを利用して制御を行うための計測・制御・情報工学の知識と技術、情報通信システムおよび制御システムの調査・分析・設計で必要とされる実践的な知識と技術とする。

(4) 建設コースは、環境や情報の分野を融合した建設工学の知識と技術、構造物の建設や環境保全で必要とされる実践的な知識と技術とする。

(5) 化学コースは、無機化学から有機化学に及ぶ材料や化学工学の知識と技術、材料開発、化学プラント開発、化学薬品製造で必要とされる実践的な知識と技術とする。

(阿南工業高等専門学校学則第7条の2)

#### 2.3 専攻科課程の目的

専攻科は、学科における教育の基礎の上に、更に高度な専門的知識と技術を教授し、その研究を指導することを目的とする。専攻科課程を通して、核となる分野に関する確固たる知識をベースとしてもち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる技術者の育成を図る。各コースの核となる専門的知識と技術は、次のとおりとする。

(1) 機械システムコースは、機械工学に関する研究課題を解決するために必要な力学、材料、生産・加工、設計、熱流体、機械力学・制御などの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。

(2) 電気電子情報コースは、電気電子工学、情報工学に関する研究課題を解決するために必要な電気回路、デジタル回路、ロボット制御、計測、プログラミングなどの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。

(3) 建設システムコースは、土木工学に関する研究課題を解決するために必要な構造・材料、地盤・水工・環境、計画・防災などの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。

(4) 応用化学コースは、応用化学に関する研究課題を解決するために必要な物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学、化学工学などの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。

(阿南工業高等専門学校学則第30条)

## 3. 阿南工業高等専門学校の教育目標

## 3.1 阿南工業高等専門学校の学習・教育目標(本科)

阿南工業高等専門学校が育成をめざす技術者像

「専門分野に関する確固たる知識をベースとして持ち、その方法論・実践力を、創造的に活用できる技術者」を養成する。

- (A) 国際人としての教養の基礎を身につけ、人間社会や自然環境に対する責任感及び倫理観について考えられる技術者
- (B) 社会が要求している問題を見出し、数学・自然科学・情報技術を利用した問題解決に取り組める技術者
- (C) 論理的に記述・討論する経験を積み、専門分野において国際的にコミュニケーションがとれ、口頭発表ができる技術者
- (D) 継続して専門技術や知識を学習する習慣と複合的な技術開発を進められる能力の基礎を身につけた技術者
- (E) 「ものづくり」を重視し、技術的構想や創造的思考を実現させるためのデザイン能力の基礎を身につけた技術者

## 3.2 阿南工業高等専門学校の学習・教育到達目標(専攻科)

阿南工業高等専門学校が育成をめざす技術者像

「専門分野に関する確固たる知識をベースとして持ち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる技術者」を養成する。

- (A) 国際人としての教養を高め、人間社会や自然環境に対して責任感及び倫理観をもつ技術者
  - (A)－1: 世界的視野から日本の文化、社会並びに他国の文化、社会を複眼的にとらえて、両者のあるべき関係について説明できる。
  - (A)－2: 人間社会に対する技術者としての責任を自覚し、自己の倫理観を説明できる。
  - (A)－3: 自然環境を考慮した技術開発を進めるための問題点を説明できる。
- (B) 社会が要求している問題を見出し、数学・自然科学・情報技術を利用しながら問題解決を計画的に遂行できる技術者
  - (B)－1: 社会が要求している問題を見出せる。
  - (B)－2: 数学に関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
  - (B)－3: 自然科学に関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
  - (B)－4: 情報技術に関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
- (C) 論理的に記述・討論ができ、専門分野において国際的にコミュニケーションがとれ、表現力豊かに口頭発表ができる技術者
  - (C)－1: 科学技術論文を作成できる。
  - (C)－2: 自分の研究成果を聴講者にわかりやすく口頭発表でき、論理的な討論ができる。
  - (C)－3: 英語によるコミュニケーションができ、専門分野において英語による口頭発表ができる。
- (D) (D1)幅広い専門分野の技術や知識を主体的かつ継続的に学習する習慣を高めて、(D2)複合的な技術開発を遂行できる能力をもった技術者
  - (D)－1: 設計・システム系、情報論理系、材料バイオ系、力学系を含む工学の基礎となる幅広い学問分野について、主体的かつ継続的に学習できる。
  - (D)－2: 専門分野における工学的問題の解決を通じて、その専門技術と知識の統合及び研鑽を主体的かつ継続的に積み重ねられる。
  - (D)－3: 他の専門分野の知識も身につけ、複合的な視野で問題点を把握できる。
  - (D)－4: 技術開発を進めるに際して、安全、環境について配慮すべき事柄を認識し、説明できる。
- (E) (E1)「ものづくり」を重視して、(E2)技術的構想や創造的思考を実現するためのデザイン能力を深化させた技術者
  - (E)－1: ものづくりの課題を自ら設定し、デザイン能力を活かして解決する方法を提案・具現化できる。
  - (E)－2: 課題を自らまたは専門が異なる人と協働して計画的に解決できる。
  - (E)－3: 工学知識や技術を統合し、技術的構想や創造的思考を特別研究としてまとめられる。

Ⅲ 基準ごとの自己評価等

領域1 教育の内部質保証システム

基準 【重点評価項目】 1-1 内部質保証に係る体制が明確に規定されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 ◎ 満たしている      ○ 満たしていない			
観点1-1-① 教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針が定められていること。  ◎ 定められている      ○ 定められていない	◇自己点検評価及び評価に関する基本方針が明示されている規程等		
	資料1-1-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する規則	内部質保証に関する趣旨、実施体制、自己点検・評価等について定めた規則	
	資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	内部質保証に関する規則に基づき、自己点検・評価の実施手順について定めた要項	
(2) (1)の方針において、自己点検・評価の実施体制(委員会等)が整備されていること。  ◎ 整備されている      ○ 整備されていない	◇実施体制等が確認できる資料(学則、自己点検評価規程等)		
	資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則	本校の学則	
	資料1-1-1-(2)-02_阿南工業高等専門学校運営委員会規則	本校の教育・研究及び管理運営に関して審議する組織の規則	
	資料1-1-1-(2)-03_阿南工業高等専門学校教務委員会規則	本科教育課程の教育体制・教育方法・学生受入れに関して自己点検する組織の規則	
	資料1-1-1-(2)-04_阿南工業高等専門学校専攻科運営委員会規則	専攻科課程の教育体制・教育方法・学生受入れに関して自己点検する組織の規則	
	資料1-1-1-(2)-05_阿南工業高等専門学校学生委員会規則	学生支援・部活動・学生会活動等への支援体制に関して自己点検する組織の規則	
	資料1-1-1-(2)-06_阿南工業高等専門学校寮務委員会規則	学生寮の管理・運営等に関して自己点検する組織の規則	
	資料1-1-1-(2)-07_阿南工業高等専門学校施設・設備・環境委員会規則	施設整備・環境方針等に関して自己点検する組織の規則	
	資料1-1-1-(2)-08_阿南工業高等専門学校地域連携・テクノセンター委員会規則	研究活動の支援体制に関して自己点検する組織の規則	
資料1-1-1-(2)-09_阿南工業高等専門学校自己点検・評価委員会規則	内部質保証に関する業務を統括する組織の規則		
(3) 施設・設備、学生支援に関し、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針が定められていること。  ◎ 定められている      ○ 定められていない	◇自己点検評価及び評価に関する基本方針が明示されている規程等		
	資料1-1-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する規則	内部質保証に関する趣旨、実施体制、自己点検・評価等について定めた規則	再掲
	資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	内部質保証に関する実施要項において自己点検担当組織(施設・設備・環境委員会)が教育組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備について点検することを定めている。	再掲
(4) (3)の方針において、自己点検・評価の実施体制(委員会等)が整備されていること。  ◎ 整備されている      ○ 整備されていない	◇関係委員会の規程等		
	資料1-1-1-(2)-07_阿南工業高等専門学校施設・設備・環境委員会規則	施設整備、設備に関する事項を審議する体制として施設・設備・環境委員会が設置されている。	再掲
	資料1-1-1-(2)-05_阿南工業高等専門学校学生委員会規則	学生支援に関する事項を審議する体制として学生委員会が設置されている。	再掲

(5)第三者評価の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるための方針が定められていること。 <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇第三者評価に関する基本方針が明示されている規程等		
	資料1-1-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する規則	内部質保証に関する趣旨、実施体制、自己点検・評価等について定めた規則	再掲
	資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	内部質保証に関する規則に基づき、自己点検・評価の実施手順について定めた要項。第2条3および第4条に第三者評価に関する基本方針を定めている。	再掲
(6)(5)の方針において、第三者評価の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるための体制が整備されていること。 <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇実施体制等が確認できる資料(学則、関係規程等)		
	資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則	学則第9条に教務主事、学生主事、寮務主事の役割分担を定めている。	再掲
	資料1-1-1-(2)-02_阿南工業高等専門学校運営委員会規則	外部評価等に関する事項について自己点検・評価委員会で審議することを定めている。	再掲
	資料1-1-1-(2)-09_阿南工業高等専門学校自己点検・評価委員会規則	外部評価に関する事項について自己点検・評価委員会で審議することを定めている。	再掲
<b>1-1 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			
<b>基準</b> <b>【重点評価項目】</b> 1-2 内部質保証のための手順が、学校の目的及び三つの方針*を踏まえて明確に規定されていること *卒業(修了)の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)(以下、「DP」という。) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)(以下、「CP」という。) 入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)(以下、「AP」という。)			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
<b>観点1-2-①</b> 以下の事項を内部質保証体制が確認する手順を有していること (1)DPが学校の目的に基づき定められていること (2)CPが学校の目的及びDPと整合性をもって定められていること (3)APが学校の目的に基づき定められていること (4)学習成果の達成がDPの求める卒業(修了)に必要な水準となっていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、学校自らが点検する体制が整備されていること。 <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇点検を行う体制が確認できる資料(関連委員会の規程等)		
	資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	各委員会等の自己点検はチェックシートに沿って実施している。本科のDP、CP、APの点検は教務委員会が、専攻科のDP、CP、APの点検は専攻科運営委員会が行う。	再掲
	資料1-1-1-(2)-03_阿南工業高等専門学校教務委員会規則	本科の教育課程の編成及び履修に関する事項、入学者選抜に関する事項等を審議する体制として教務委員会を設置している。	再掲
	資料1-1-1-(2)-04_阿南工業高等専門学校専攻科運営委員会規則	専攻科の運営、教育、その他に関する事項を審議する体制として専攻科運営委員会を設置している。	再掲
<b>観点1-2-②</b> 教育課程ごとの点検・評価において、領域5の各基準に基づく判断を行うことが定められていること			

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)教育課程ごとの点検・評価において、以下の内容の点検・評価を行うことが規程等で定められていること。(すべての項目にチェック必須)	◇チェック項目の点検・評価が実施されていることが確認できる資料(関連規程等)		
<input checked="" type="checkbox"/> DPが具体的かつ明確であること	資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	各委員会等の自己点検はチェックシートに沿って実施している。本科および専攻科の教育方針、成績評価、進級・卒業判定、学生の受け入れ等の自己点検・評価については、それぞれ教務委員会および専攻科運営委員会が担当する。評価基準・項目は自己点検チェック表で設定されている。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> CPが具体的かつ明確であり、DPと整合していること			
<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程がCPに基づき体系的に編成され、授業科目の内容がDPに基づき設定されていること			
<input checked="" type="checkbox"/> DP及びCPに基づき、適切な授業形態、学習指導方法が採用されていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 適切な履修指導、支援が行われていること			
<input checked="" type="checkbox"/> CPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 学校の目的及びDPに基づき、公正な卒業判定が実施されていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 学校の目的及びDPに基づき、適切な学習成果が得られていること			
<input checked="" type="checkbox"/> APが具体的かつ明確であること			
<input checked="" type="checkbox"/> 学生の受入が適切に実施されていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること			

**観点1-2-③ 施設・設備、学生支援に関して行う自己点検・評価の方法が定められていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 基準1-1の方針において、若しくは同方針に基づいて、自己点検・評価の基準・項目等が設定されていること。	◇自己点検・評価の基準・項目等が確認できる資料(基本方針、関連規程等)		
<input checked="" type="radio"/> 設定されている <input type="radio"/> 設定されていない	資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	各委員会等の自己点検はチェックシートに沿って実施している。施設・設備については施設・設備・環境委員会が、学生支援については学生委員会が自己点検・評価を担当する。評価基準・項目は自己点検チェック表で設定されている。	再掲

**観点1-2-④ 関係者の意見を聴取する仕組みが設けられていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 自己点検・評価の実施に際して、次の各関係者の意見が反映されるようになっていること。(すべての項目にチェック必須)	◇自己点検・評価の基準・項目等が確認できる資料(基本方針、関連規程等)		
<input checked="" type="checkbox"/> 教員	資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	各委員会等の自己点検はチェックシートに沿って実施している。各関係者からの意見聴取・アンケートについては自己点検チェック表に定めている。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 職員	資料1-2-4-(1)-01_校長面談との個人面談(教員)	毎年度、校長と教員との個人面談を実施。教員からの意見聴取を行っている。	
	資料1-2-4-(1)-02_校長面談とのグループ面談(職員・技術職員)	毎年度、校長と職員とのグループ面談を実施。職員からの意見聴取を行っている。	
	資料1-2-4-(1)-03_ R6第2回FD・SD委員会議事概要	校長とのグループ面談で要望のあった研修内容が選定された	
	資料1-2-4-(1)-04_R7FD・SD研修会開催通知	校長とのグループ面談で要望のあった研修内容が選定され開催される。	
	資料1-2-4-(1)-05_阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則(R7.6.23一部改正、R7.4.1適用)	校長とのグループ面談での成績申し立てについて改善された	
<input checked="" type="checkbox"/> 在学生	資料1-2-4-(1)-06_学生生活実態調査実施要項	IR戦略室が実施するアンケートを学生委員会に共有している。毎年度実施。	

阿南工業高等専門学校

<input checked="" type="checkbox"/> 卒業（修了）時の学生  <input checked="" type="checkbox"/> 卒業（修了）から一定年数後の卒業（修了）生  <input checked="" type="checkbox"/> 保護者  <input checked="" type="checkbox"/> 中学校・地方公共団体・民間企業その他の関係者	資料1-2-4-(1)-07_R6第1回FD・SD委員会議事概要及び資料 資料1-2-4-(1)-08_阿南工業高等専門学校目標設定アンケート実施要項 資料1-2-4-(1)-09_阿南工業高等専門学校卒業時アンケート実施要項 資料1-2-4-(1)-10_阿南工業高等専門学校修了時アンケート実施要項 資料1-2-4-(1)-11_阿南工業高等専門学校卒業生・修了生アンケート実施要項 資料1-2-4-(1)-12_阿南工業高等専門学校保護者面談実施要項 資料1-2-4-(1)-13_阿南工業高等専門学校参与会規則 ◇就職先又は進学先について、関係者の参画する会議体、対象としたアンケートに係る規程等 資料1-2-4-(1)-13_阿南工業高等専門学校参与会規則 資料1-2-4-(1)-14_阿南工業高等専門学校企業アンケート実施要項	R6年度学修（学習）到達度アンケート・シラバス到達目標達成度アンケート(名称を2つあわせて目標設定アンケートに変更済)の実施を決定した。 年度初めに学生に目標を設定させ、1年間を終えて目標を達成できたかどうかを振り返り、自己評価をさせることで新たな目標を設定したり、内省を促したりして、学生の成長につなげることを目的としたアンケートを実施している。 本科を卒業する学生に対して、卒業時に教育・課外活動・施設等への満足度についてアンケート調査を行っている。毎年度実施している。 専攻科を修了する学生に対して、修了時に教育・施設等への満足度についてアンケート調査を行っている。毎年度実施している。 卒業生および修了生に対して、目指す技術者像、学習教育目標の設定が適切であったか調査している。毎年度実施している。 毎年度前期・後期・学年末に保護者を対象に面談を行っている。 参与会は大学、中学校、地方公共団体、民間企業等の関係者から組織されている。 参与会は大学、中学校、地方公共団体、民間企業等の関係者から組織されている。再掲 卒業生・修了生の就職先企業に対して、目指す技術者像、学習教育目標の設定が適切であったか調査している。毎年度実施。
(2) 自己点検・評価の実施において、聴取された意見の評価結果及び他の様々な評価の結果や指摘の内容を踏まえて行っているか。(複数チェック可)  <b>【在学生の意見聴取】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 学習環境に関する評価  <input checked="" type="checkbox"/> 学生による授業評価  <input checked="" type="checkbox"/> 学生による満足度評価（進級時等、卒業（修了）前の評価）  <input type="checkbox"/> その他 <b>【卒業（修了）時の意見聴取】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 卒業（修了）時の学生による満足度評価  <input type="checkbox"/> その他 <b>【卒業（修了）後の意見聴取】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 卒業（修了）後の学生による学習成果の効果に関する評価  <input checked="" type="checkbox"/> 就職先等による卒業生に対する評価  <input type="checkbox"/> その他 <b>【外部評価】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の検証 <input checked="" type="checkbox"/> 教育活動に関する第三者評価（機関別認証評価、JABEE等。）	◇各評価結果等を踏まえて自己点検・評価が行われていることを示す報告書等の該当箇所(自己点検評価報告書の該当箇所又は担当組織の議事要旨、会議資料等)  資料1-2-4-(2)-01_R5年度卒業時アンケート結果 資料1-2-4-(2)-02_令和6年度第10回教務委員会議事概要 資料1-2-4-(2)-03_学生による学修（学習）達成度評価アンケート 資料1-2-4-(2)-04_R5学生生活実態調査まとめポスター 資料1-2-4-(2)-05_令和7年度第5回学生委員会議事概要  資料1-2-4-(2)-01_R5年度卒業時アンケート結果 資料1-2-4-(2)-02_令和6年度第10回教務委員会議事概要 資料1-2-4-(2)-06_R6年度修了時アンケート集計結果 資料1-2-4-(2)-07_令和7年度第1回専攻科運営委員会議事要旨  資料1-2-4-(2)-08_卒業生・修了生アンケート集計結果 資料1-2-4-(2)-09_R7第1回自己点検・評価委員会議事概要 資料1-2-4-(2)-10_企業アンケート集計結果 資料1-2-4-(2)-09_R7第1回自己点検・評価委員会議事概要  資料1-2-4-(2)-11_令和6年度_第22回_阿南工業高等専門学校参与会報告書 資料1-2-4-(2)-12_JABEE技術者教育プログラム認定審査結果報告2021-2027	令和5年度の卒業時アンケートの集計結果を示している。 第10回教務委員会報告4にて、卒業時アンケートの結果について報告し、委員に意見を聞くとともに、各コースでも結果を共有し、教育改善を図るように依頼した。 担当する科目のうち1科目を選択し、学生による授業評価アンケートを実施している。アンケート結果を受けて担当教員は授業改善案を考える。 学生生活と学習に関して実態を調査するためのアンケートを実施している。調査結果をまとめてポスターとして学生へフィードバックしている。 学生委員会において学生生活実態調査の活用について審議している。  卒業する学生に対して、卒業時に教育・課外活動・施設等への満足度についてアンケート調査を行っている。再掲 第10回教務委員会報告4にて、卒業時アンケートの結果について報告し、委員に意見を聞くとともに、各コースでも結果を共有し、教育改善を図るように依頼した。再掲 修了する学生に対して、修了時に教育・課外活動・施設等への満足度についてアンケート調査を行っている。 第1回専攻科運営委員会でアンケートの集計結果を受けて、今後改善すべき点がある場合は専攻科運営委員会で検討を継続することが確認された。  令和6年度の卒業生・修了生アンケート集計結果 令和6年度の卒業生・修了生アンケート集計結果について自己点検・評価委員会で議論した。 令和6年度の企業アンケート集計結果 令和6年度の企業アンケート集計結果について自己点検・評価委員会で議論した。再掲  令和6年度参与会における外部有識者からの意見聴取の結果。 日本技術者教育認定機構によるJABEE認定に関する受審結果。

<input type="checkbox"/> 設置計画履行状況調査 <input type="checkbox"/> その他	◆その他の項目をチェックした場合は、当該評価の内容を記述するとともに、上記◇と同様に該当箇所を明示すること。	
---	--	--

**観点1-2-⑤ 内部質保証体制において共有、確認された自己点検・評価結果(設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受けた第三者評価の結果を含む。)を踏まえた対応措置について検討、立案、提案する手順が定められていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 基準1-1の方針において、若しくは同方針に基づいて、自己点検・評価の結果を踏まえた対応措置について検討、立案、提案するための手順が規定されていること。  <input checked="" type="radio"/> 規定されている <input type="radio"/> 規定されていない	◇自己点検・評価の結果を踏まえた対応措置について検討、立案、提案するための手順を定めた規程等  資料1-1-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する規則 資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	内部質保証の方針においてPDCAサイクルの手順を定めている。 内部質保証のPDCAサイクル図により、自己点検・評価の流れを示している。	再掲  再掲

**観点1-2-⑥ 内部質保証体制において承認された対応措置の計画を実施する手順が定められていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 内部質保証体制において承認された対応措置の計画を実施するための手順が規定されていること。  <input checked="" type="radio"/> 規定されている <input type="radio"/> 規定されていない	◇内部質保証体制において承認された対応措置の計画を実施するための手順を定めた規程等  資料1-1-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する規則 資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	内部質保証の方針においてPDCAサイクルの手順を定めている。 内部質保証のPDCAサイクル図により、自己点検・評価の流れを示している。	再掲  再掲

**観点1-2-⑦ 内部質保証体制において、その決定した計画の進捗を確認するとともに、必要な対処方法を決定する手順が定められていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 対応計画の進捗の確認、進捗状況に応じた対応を決定する手順が規定されていること。  <input checked="" type="radio"/> 規定されている <input type="radio"/> 規定されていない	◇対応計画の進捗確認、進捗状況に応じた対応を決定する手順について定めた規程等  資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	内部質保証に関する実施要項の第2条2において、実施状況の確認、報告、対応について定めている。	再掲

**観点1-2-⑧ 自己点検・評価の結果が公表されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 自己点検・評価を実施し、その結果が公表されていること。  <input checked="" type="radio"/> 公表されている <input type="radio"/> 公表されていない	【様式2-4】ウェブサイト掲載項目チェック表		

**1-2 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。**

該当なし
------

基準

【重点評価項目】

1-3 自己点検・評価や第三者評価の結果を教育の質の改善・向上に結び付けていること

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

- 満たしている       満たしていない

観点1-3-① 内部質保証体制において、機関別認証評価や第三者評価の結果を踏まえた改善がなされていること

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 前回の機関別認証評価における評価結果において、「改善を要する点」として指摘された事項に対応していること。 <input checked="" type="radio"/> 対応している <input type="radio"/> 対応していない	◇対応状況が確認できる資料(指摘事項に対しての改善策を審議・策定していることが確認できる会議資料、議事録等)		
	資料1-3-1-(1)-01_平成31年度第1回運営委員会議事概要	運営委員会において点検・評価委員より高等専門学校機関別認証評価に結果について報告があった。	
	資料1-3-1-(1)-02_平成31年度第1回点検・評価委員会報告	前回の指摘事項は、次の通り。(1)基準1:職員に対する意見聴取の取組は十分とはいえない。、(2)基準5:成績評価に関する申し合わせ事項に、成績評価の厳格性・公平性の観点から一部問題がある。また、一部の授業科目において、本試験と再試験で同一の試験問題が出題されている。定期試験の本試験と再試験での同一の試験問題、(3)基準8:一部の授業科目において、複数年度にわたり同一の試験問題が出題されている。	
	資料1-3-1-(1)-03_令和2年度第2回運営委員会議事概要	教員会議規則の一部改正を行い、技術職員と教員との情報共有および発言の機会を設けた。	
	資料1-3-1-(1)-04_阿南工業高等専門学校教員会議規則の一部改正について	指摘事項(1)への対応:教員会議規則の一部改正該当箇所を示している。	
	資料1-2-4-(1)-02_校長面談とのグループ面談(職員・技術職員)	指摘事項(1)への対応:毎年度、校長と職員とのグループ面談を実施。職員からの意見聴取を行っている。	再掲
	資料1-3-1-(1)-05_職員との面談記録とりまとめ	指摘事項(1)への対応:校長と職員とのグループ面談の記録	
	資料1-3-1-(1)-06_職員に対する意見聴取の取組について	指摘事項(1)への対応:職員からの意見に対する対応状況	
	資料1-3-1-(1)-07_平成30年度第6回運営委員会議事概要	指摘事項(2)および(3)への対応:点検・評価委員長より授業及び定期試験の質保証確認票について、コースごとのリストを作成する方針が示された。	
	資料1-3-1-(1)-08_授業の質保証確認票	指摘事項(2)および(3)への対応:授業内容の質について教員相互で確認する「授業の質保証確認票」	
	資料1-3-1-(1)-09_定期試験の質保証確認票	指摘事項(2)および(3)への対応:定期試験の質について教員相互で確認する「定期試験の質保証確認票」	
	資料1-3-1-(1)-10_令和7年度第5回自己点検・評価委員会議事概要	指摘事項(2)および(3)への対応:授業の質保証および定期試験の質保証について、その確認方法・手順を改めて明確に定めた。	
	資料1-3-1-(1)-11_質保証確認・集計表	指摘事項(2)および(3)への対応:「授業の質保証確認票」および「定期試験の質保証確認票」を統合した確認・集計表	
	資料1-3-1-(1)-12_【改善依頼書】成績資料保管状況改善等について(主任宛)	授業の質または定期試験の質について改善すべき点が確認されれば、該当の教員が所属する主任に対して改善依頼を行う。	
	資料1-3-1-(1)-13_【改善依頼書】成績資料保管状況改善等について(該当教員宛)	授業の質または定期試験の質について改善すべき点が確認されれば、該当の教員に対して改善依頼を行う。	
	資料1-3-1-(1)-14_R2第1回点検・評価委員会議事要旨4.27	令和元年度からこのシステムを厳格化し、5月、9月には提出状況を確認することとした。コロナ禍で、確認時期がずれることもあったが保管状況を確認した委員会の議事録を提出している。	
	資料1-3-1-(1)-15_R2第2回点検・評価委員会議事要旨	令和元年度からこのシステムを厳格化し、5月、9月には提出状況を確認することとした。コロナ禍で、確認時期がずれることもあったが保管状況を確認した委員会の議事録を提出している。	
	資料1-3-1-(1)-16_R2年度1月補佐会議資料(点検評価委員会報告)	令和元年度からこのシステムを厳格化し、5月、9月には提出状況を確認することとした。コロナ禍で、確認時期がずれることもあったが保管状況を確認した委員会の議事録を提出している。	
	資料1-3-1-(1)-17_R2年度前期分の成績資料保管について(依頼)	令和元年度からこのシステムを厳格化し、5月、9月には提出状況を確認することとした。コロナ禍で、確認時期がずれることもあったが保管状況を確認した委員会の議事録を提出している。	

	資料1-3-1-(1)-18_R2年度第9回運営委員会議事概要	令和元年度からこのシステムを厳格化し、5月、9月には提出状況を確認することとした。コロナ禍で、確認時期がずれることもあったが保管状況を確認した委員会の議事録を提出している。	
(2)(1)以外で、自己点検・評価や第三者評価の結果を踏まえた課題等を確認し、実際に改善していること。 ● 行っている ○ 行っていない	◇基準1-2の各観点に係る取組において実施した対応や措置が確認できる資料(自己点検・評価報告書、第三者評価の該当箇所、その他)		
	資料1-2-4-(2)-12_JABEE技術者教育プログラム認定審査結果報告2021-2027	日本技術者教育認定機構によるJABEE認定に関する受審結果。5ページ目の最初の指摘項目(赤の矩形で囲った部分)において「～可能性をもった技術者」との表現に対して、その表現を議論するよう指摘されている。	再掲
	◇評価結果を受けた改善の取組が確認できる資料(改善例等)		
	資料1-3-1-(2)-01_令和4年度第7回専攻科運営委員会、自己点検・評価委員会合同会議事要旨	前回のJABEE受審時に指摘された学習教育目標の表現等について改善を審議した記録(赤の矩形で囲った部分)	
<b>1-3 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			
領域1			
<b>優れた点</b>			
第三者評価として機関別認証評価の他に、日本技術者教育認定機構によるJABEE認定および日本工学教育協会による国立高専教育国際標準認定(KIS認定)を受けている。			
	資料1-2-4-(2)-12_JABEE技術者教育プログラム認定審査結果報告2021-2027		再掲
	資料1-優-01_国立高専教育国際標準(KIS)評価点検書		
<b>改善を要する点</b>			
該当なし			

領域2 教育組織及び教員・教育支援者等

基準			
2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適切となっていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学科の構成が学校の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)及びDPと整合性がとれていること。 <input checked="" type="radio"/> 整合性が取れている <input type="radio"/> 整合性がとれていない	◇DP、学則、学校要覧等		
	資料2-1-1-(1)-01_学習・教育目標-DP-CP対応表(本科)	本科の構成は学校の目的、本科ディプロマ・ポリシーと整合している。	
	資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則	学則第1条に本校の目的および第7条の2に学科における教育目的を定めている。	再掲
	資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)	本科ディプロマ・ポリシーは「高専生活のてびき」(学生便覧に相当)の前付け部分に掲載し、学生および教職員に周知している。	
観点2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 専攻の構成が学校の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)及びDPと整合していること。 <input checked="" type="radio"/> 整合している <input type="radio"/> 整合していない	◇DP、学則、学校要覧等		
	資料2-1-2-(1)-01_学習・教育到達目標-DP-CP対応表(専攻科)	専攻の構成は学校の目的、専攻科ディプロマ・ポリシーと整合している。	
	資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則	学則第1条に本校の目的および第30条に専攻科における教育目的を定めている。	再掲
	資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)	専攻科ディプロマ・ポリシーは「高専生活のてびき」(学生便覧に相当)の前付け部分に掲載し、学生および教職員に周知している。	再掲
<b>2-1 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			
基準			
2-2 教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしていること。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点2-2-① 教員の組織的な役割分担の下で、教育に係る責任の所在が明確になっていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲

(1) 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇教育活動を有効に展開するため必要と考えられる教務・学生支援・入試等の委員会の組織体制が確認できる資料(当該事項を審議するための組織の構成図、運営規程等)		
	資料1-1-1-(2)-03_阿南工業高等専門学校教務委員会規則	本科の教育課程の編成・履修に関する事項、入学者選抜に関する事項等を審議する体制として教務委員会を設置している。	再掲
	資料1-1-1-(2)-04_阿南工業高等専門学校専攻科運営委員会規則	専攻科の運営・教育に関する事項等を審議する体制として専攻科運営委員会を設置している。	再掲
	資料1-1-1-(2)-05_阿南工業高等専門学校学生委員会規則	本科および専攻科の学生生活に関する事項等を審議する体制として学生委員会を設置している。	再掲
	資料2-2-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校組織図	令和7年度学校要覧p25(未定稿)に記載の組織図	
	資料2-2-1-(1)-02_R7校内各役職・委員等一覧	令和7年度の校内役職(主事、主任、担任等)および委員会委員の一覧表	

**観点2-2-2② 全校的見地から、校長等の下で教育研究活動について審議し又は実施する組織が整備されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教育研究活動を全校的に審議し又は実施する組織について、構成、責任体制及び審議事項、組織及び議事の運営に関することその他の必要な事項が規定されていること。  <input checked="" type="radio"/> 規定されている <input type="radio"/> 規定されていない	◇教育研究活動について審議し又は実施する組織について定めている規程等		
	資料1-1-1-(2)-03_阿南工業高等専門学校教務委員会規則	本科の教育課程の編成・履修に関する事項、入学者選抜に関する事項等を審議する教務委員会の規則	再掲
	資料1-1-1-(2)-04_阿南工業高等専門学校専攻科運営委員会規則	専攻科の運営・教育に関する事項等を審議する専攻科運営委員会の規則	再掲
	資料1-1-1-(2)-05_阿南工業高等専門学校学生委員会規則	本科および専攻科の学生生活に関する事項等を審議する学生委員会の規則	再掲
	資料1-1-1-(2)-08_阿南工業高等専門学校地域連携・テクノセンター委員会規則	研究支援に関する事項等を審議する地域連携・テクノセンター委員会の規則	再掲
(2)(1)の組織において、具体的な審議等がなされているか。  <input checked="" type="radio"/> 審議等がなされている <input type="radio"/> 審議等がなされていない	◇評価の前年度の実施された同組織における会議の審議事項、資料及び議事要旨等		
	資料2-2-2-(2)-01_教務委員会議事概要(教育研究活動についての審議)	本科の運営・教育に関する事項等を審議した教務委員会の議事録	
	資料2-2-2-(2)-02_学生委員会議事概要(教育研究活動についての審議)	全学生の運営・教育に関する事項等を審議した学生委員会の議事録	
	資料2-2-2-(2)-03_専攻科運営委員会議事録(教育研究活動についての審議)	専攻科の運営・教育に関する事項等を審議した専攻科運営委員会の議事録	
	資料2-2-2-(2)-04_地域連携・テクノセンター委員会議事要旨(研究支援に関する事項等についての審議)	研究支援に関する事項等を審議した地域連携・テクノセンター委員会の議事録	

**2-2 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし			

**基準**  
**2-3 教育活動を展開する上で必要な教員が適切に整備されていること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない
--

**観点2-3-1① 設置基準に照らして、必要人数の教員が配置されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 一般科目担当の基幹教員が法令に従い、確保されていること。 ◎ 確保されている ○ 確保されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		
(2) 専門科目担当の基幹教員が法令に従い、確保されていること。 ◎ 確保されている ○ 確保されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		再掲

**観点2-3-② 専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されていること**

(根拠理由欄)  
 本校専攻科創造技術システム工学専攻は令和4年4月1日より特例適用専攻科としての適用認定を受けている。専攻の区分は、機械工学、電気電子工学、応用化学、土木工学である。

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 専攻科の授業科目担当教員が適切に確保されていること。 ○ 確保されている ◎ 確保されていない	◇【様式2-3】担当教員一覧表等		

**観点2-3-③ 教員の年齢及び性別の構成が著しく偏ることがないように適切な配慮がなされていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教員の配置について、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢あるいは性別に著しく偏ることのないよう配慮されていること。 ◎ 配慮されている ○ 配慮されていない	◇【様式2-6】教員の年齢・性別構成 ◇(必要に応じ)検討や取組の状況が確認できる資料		

**2-3 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。**

該当なし			
------	--	--	--

**基準**

**2-4 組織的に、教員の質を確保し、その維持、向上を図っていること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 ◎ 満たしている ○ 満たしていない

**観点2-4-① 教員の採用及び昇任に当たって、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績に関する判断の方法等が明確に定められていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教員(基幹教員以外の教員を除く。)の採用・昇任に関する基準が法令に従い定められていること。  ◎ 定められている ○ 定められていない	◇教員の採用・昇任等に係る体制、基準、手続等に関する規程等(教員選考規則、昇任基準、審査要領等)  資料2-4-1-(1)-01_教員人事の選考基準等 資料2-4-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校教員人事戦略委員会規則 資料2-4-1-(1)-03_阿南工業高等専門学校教員選考委員会規則 資料2-4-1-(1)-04_教員人事のガイドライン	教員人事の選考基準等において教授、准教授等の昇任の基準を定めている。令和7年度以降は、これに従って実施している。 教員の人事計画に関するなどを審議する人事戦略委員会の規則 教員選考方針及び公募に関するなどを審議する教員選考委員会の規則 令和6年度まではガイドラインに基づき教授、准教授等の昇任の基準を定めていた。	
(2) (1)の基準に基づき、実際の採用・昇任が行われていること。  ◎ 行われている ○ 行われていない	◇公募要領・様式、実績状況に関する資料等  資料2-4-1-(2)-01_教員公募要領	電気コース教員公募事例	

**観点2-4-② 全教員の教育研究活動に対して、規程等に基づき学校による定期的な評価の仕組みがあること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 全教員(基幹教員以外の教員を除く。)に対して校長又はその委任を受けた者による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行う体制が整備されていること。  ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇実施体制等が確認できる資料(評価実施規程、教員評価の基準を定めたもの等)  資料2-4-2-(1)-01_教育研究活動に関する目標・計画書および達成度自己評価書 資料2-4-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校教員評価規則 ◇評価の前年度に実施された評価実施組織における会議の審議事項、資料及び議事要旨等 資料2-4-2-(1)-03_教員評価(顕彰)について 資料2-4-2-(1)-04_R6年度第11回運営委員会議事概要 資料2-4-2-(1)-05_R6年度第3回教員人事戦略委員会議事要旨 資料2-4-2-(1)-06_R6年度教員選考委員会(第二次選考) 資料2-4-2-(1)-07_R6年度教員選考委員会 資料2-4-2-(1)-08_R6年度第11回運営委員会議事要旨 資料2-4-2-(1)-09_R7年度第3回運営委員会議事概要 資料2-4-2-(1)-10_R7年度第4回運営委員会議事概要	年度初めに全教員が自身の教育研究活動に関する目標・計画書を提出している。また、昨年度の教育研究活動に関する目標・計画書に対する達成度について点検し、自己評価書を提出している。これらの資料は校長との面談資料として活用している。 教育研究活動に対して、教員評価を定期的実施することを定めた規則 教員の自己評価、相互評価・学生による教員評価を修正した資料 教員顕彰結果の報告 評価を参考に昇任候補者を決定した資料 昇任人事について審議した資料 昇任人事について審議した資料 昇任人事について報告した資料 教育研究活動に関する目標・計画達成自己評価書を評価に活用していることがわかる資料 教員評価規則に基づき評価していることがわかる資料	

**観点2-4-③ 教員評価で把握された事項に対して、評価の目的に即した取組を行う仕組みがあること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 把握した評価結果を基に行う取組が規定されているか。(複数チェック☑可)	◇取組に関する規程等(評価実施規程、改善指導について定めた規程等)  資料2-4-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校教員評価規則 資料2-4-3-(1)-01_阿南高専教職員表彰要領 資料1-3-1-(1)-11_質保証確認・集計表 資料1-3-1-(1)-12_【改善依頼書】成績資料保管状況改善等について(主任宛) 資料2-4-3-(1)-01_阿南高専教職員表彰要領 ◇評価の前年度に実施された評価実施組織における会議の審議事項、資料及び議事要旨等 資料2-4-3-(1)-02_R6第7回運営委員会議事概要	教員評価規則の第6条第2項第2号、第3号に定められている。 高志賞受賞者には教員会議において表彰されるとともに副賞として教育研究費20万円(上限)が贈られる。 質保証確認・集計表をグループウェア内に保存し、成績資料確認に活用している。 集計結果が芳しくないコースのコース主任に対する改善依頼書。 教員評価規則の第6条第2項第5号に定められている。 令和6年度高志賞について第7回運営委員会(令和6年11月13日開催)において審議した。	
<input checked="" type="checkbox"/> 給与における措置			再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 教育研究費配分における措置			再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 改善に向けた指導			再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 表彰			再掲
<input type="checkbox"/> その他	◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		

観点2-4-④ 授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント(FD)*が組織的に実施されていること			
*ファカルティ・ディベロップメント(以下、「FD」という。)			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学校として、授業の内容及び方法の改善を図るためにFDを実施する体制が整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇実施体制・実施方針・内容・方法が確認できる資料(FDの実施方針、委員会規程、委員会等の組織関係図等)		
	資料2-4-4-(1)-01_阿南工業高等専門学校FD・SD委員会規則	教職員のファカルティディベロップメント及びスタッフディベロップメントに関する事項について審議する組織としてFD・SD委員会を設置している。	
(2) 定期的にFDが実施されていること。 ◎ 実施されている ○ 実施されていない	◇実施状況一覧		
	資料2-4-4-(2)-01_FD・SD実施研修一覧	最近のFD・SDIに関して実施した研修一覧	
<b>2-4 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			
基準			
2-5 教育活動を支援又は補助する者が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 ◎ 満たしている ○ 満たしていない			
観点2-5-① 教育活動を展開するために必要な教育支援者や教育補助者(指導補助者)が配置されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教育支援者(事務職員、技術職員、助手等。)が法令に従い適切に配置されていること。 ◎ 配置されている ○ 配置されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		再掲
	◇役割分担が確認できる資料(事務組織規程、事務組織図、技術室規程)		
	資料2-5-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校事務部組織規則	教育支援者の体制を定めた事務部組織規則	
	資料2-2-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校組織図	教育支援者に関する組織図を示している。	再掲
	◇助手を配置する場合、助手の位置付け・支援内容と人数配置状況が明示されている資料	本校では助手を配置していない。	
(2) 図書館に専門的職員、その他の専属の教員又は事務職員等が配置されていること。 ◎ 配置されている ○ 配置されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		再掲
(3) 教育補助者(指導補助者)を配置する場合、その定義、業務内容、採用手続等が規定されていること。	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		再掲

<input type="radio"/> 規定されている <input checked="" type="radio"/> 規定されていない	◇教育補助者(指導補助者)の定義、業務内容、採用手続について定めた規程	本校では教育補助者(指導補助者)を配置していない。	
<b>観点2-5-② 教育活動を展開するために必要な教育支援者や教育補助者(指導補助者)が担当する業務に応じて、研修等、必要な資質の維持、向上を図る取組が組織的に実施されていること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教育支援者(事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。)に対して、研修や技術教育研究発表会などで資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。  <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇実施状況一覧 資料2-4-4-(2)-01_FD・S D実施研修一覧 資料2-5-2-(1)-01_技術教育研究発表会	教育支援者に対して、対面およびオンライン研修を実施している。 技術職員は技術教育研究発表会を開催し、取り組んでいる技術教育研究について発表を行っている。また同時に外部から講師を招き研修を行っている。	再掲
(2) 教育補助者(指導補助者)を配置する場合、研修、オリエンテーション、指導・助言などで資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。  <input type="radio"/> 行われている <input checked="" type="radio"/> 行われていない	◇研修の内容が確認できる資料  ◇実施状況一覧	本校では教育補助者(指導補助者)を配置していない。	
<b>2-5 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</b>			
該当なし			

<b>領域2</b>			
<b>優れた点</b>			
該当なし			
<b>改善を要する点</b>			
該当なし			

領域3 学習環境及び学生支援等

**基準**  
3-1 教育組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備されていること

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

- 満たしている       満たしていない

**観点3-1-① 教育活動を展開する上で必要な施設・設備が法令に基づき整備されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 校地・校舎面積が法令に従い適切に確保されていること。  <input checked="" type="radio"/> 確保されている <input type="radio"/> 確保されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		再掲
(2) 法令に従い必要な施設が整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表  ◇設置状況が確認できる資料(キャンパスマップ、学生便覧等) 資料3-1-1-(2)-01_キャンパスマップ	設置状況が確認できる資料としてキャンパスマップを示している。	再掲
(3) 学科の種類に応じ、附属施設が法令に従い適切に整備されているか。(複数チェック可)  <input checked="" type="checkbox"/> 実験・実習工場 <input type="checkbox"/> 練習船  <input type="checkbox"/> その他	◇【様式2-1】高等専門学校現況表  ◇設置状況が確認できる資料(キャンパスマップ、学生便覧等) 資料3-1-1-(3)-01_キャンパスマップ (実習工場・演習室) ◆その他の項目をチェックした場合は、その施設を具体的に記述する。	工作機械等を用いた実習を行う創造技術ファクトリーおよびパソコンを用いた演習を行うための演習室(3室)を設置している。	再掲
(4) 教育研究環境の充実を図るため、(1)～(3)以外の施設・設備が設けられているか。(複数チェック可)  <input checked="" type="checkbox"/> 厚生施設  <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションスペース <input checked="" type="checkbox"/> 自主的学習スペース <input type="checkbox"/> その他	◇設置状況が確認できる資料(キャンパスマップ、学生便覧等)  資料3-1-1-(4)-01_キャンパスマップ (厚生施設等)  ◆その他の項目をチェックした場合は、その施設を具体的に記述する。	厚生施設として福利施設(高志会館)を設置している。高志会館内には学生食堂、売店の他、コミュニケーションスペースとして学生休憩室を設けている。また、図書館にもコミュニケーションスペースとして交流ラウンジを、自学自習スペースとしてラーニングcommonsを設けている。	

**観点3-1-② 施設・設備における安全性について配慮する体制が整備されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 施設・設備の安全衛生管理体制が整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇安全衛生管理体制が確認できる資料(安全衛生管理規程、関係委員会規程等) 資料3-1-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校健康安全管理規則	教職員の健康管理及び安全管理に関する規則	

	資料1-1-1-(2)-07_阿南工業高等専門学校施設・設備・環境委員会規則	施設・設備・環境に関する事項等を審議する体制として施設・設備・環境委員会を設置している。	再掲
	◇設備使用に関する規程、設備利用の手引き等		
	資料3-1-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校規則集Webサイト	本校Webサイトに阿南工業高等専門学校規則集を掲載し、学生などに公開している。	
	資料3-1-2-(1)-03_図書館利用細則	図書館の利用に関し必要な事項(開館日時、休館日、利用手続き、利用方法等)を定めている。	
	資料3-1-2-(1)-04_課外教育共同施設使用細則	課外教育共同施設の使用に関し必要な事項を定めている。	
	資料3-1-2-(1)-05_研修所使用者要項	研修所の使用に関し必要な事項を定めている。	
	資料3-1-2-(1)-06_多目的室利用細則	多目的室の使用に関し必要な事項を定めている。	
	資料3-1-2-(1)-07_学生集会所使用細則	学生集会所の使用に関し必要な事項を定めている。	
	資料3-1-2-(1)-08_福利施設使用細則	福利施設の使用に関し必要な事項を定めている。	
	資料3-1-2-(1)-09_実験実習工場利用細則	実験実習工場の使用に関し必要な事項を定めている。	
	資料3-1-2-(1)-10_実験実習工場の利用について	実験実習工場の利用案内	
	資料3-1-2-(1)-11_安全の手引き	実習工場における作業の注意事項をまとめた案内の手引き	
	資料3-1-2-(1)-12_実験実習安全必携	実験実習時の安全心得等をまとめたもの	
(2) 施設・設備のバリアフリー化の配慮が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 配慮が行われている <input type="radio"/> 配慮が行われていない	◇施設・設備の整備状況・整備計画等のバリアフリー化の取組を示す資料(障がい者差別解消法の合理的配慮について確認できる資料) 資料3-1-2-(2)-01_バリアフリーマップ	自動ドア、エレベーター、多目的トイレ、身障者用駐車場、屋外入ロースロープを設置し、バリアフリー化を図っている。	
<b>観点3-1-③ 図書館において、教育研究上必要な資料を整備していること</b>			
	自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考
(1) 図書館を法令に従い備えていること。 <input checked="" type="radio"/> 備えている <input type="radio"/> 備えていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		再掲
	◇整備状況が確認できる資料(学校要覧、図書情報センター利用案内等)		
	資料3-1-2-(1)-03_図書館利用細則	図書館の利用に関し必要な事項(開館日時、休館日、利用手続き、利用方法等)を定めている。	再掲
	資料3-1-3-(1)-01_図書館利用ガイダンス資料	開館日時、休館日、利用手続き、利用方法、館内配置、蔵書検索方法、図書館からのお願いをまとめたもの。ホームページ、manaba、受付窓口、館内掲示、新入生オリエンテーション等にて周知している。	
(2) 図書、学術雑誌、電子ジャーナルその他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。 <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		再掲
	◇「大学・短期大学・高等専門学校図書館調査」(日本図書館協会)結果		
	資料3-1-3-(2)-01_「大学・短期大学・高等専門学校図書館調査」結果	『日本の図書館 統計と名簿 2025』2026年3月刊行予定 施設、開館、職員、資料、奉仕、経費等について回答	
(3) (2)の資料が、教職員や学生に有効に活用されていること。 <input checked="" type="radio"/> 活用されている <input type="radio"/> 活用されていない	◇「大学・短期大学・高等専門学校図書館調査」(日本図書館協会)結果		
	資料3-1-3-(2)-01_「大学・短期大学・高等専門学校図書館調査」結果	『日本の図書館 統計と名簿 2024』を教職員や学生が図書館内で閲覧できるようにしている。また、選書時に他館の蔵書情報等を参考にしている。	再掲

<p><b>3-1 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			
<p>該当なし</p>			
<p><b>基準</b>  <b>3-2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること</b></p>			
<p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 満たしている      <input type="radio"/> 満たしていない</p>			
<p><b>観点3-2-① 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制が整備されていること</b></p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>	<p>備考</p>	<p>再掲</p>
<p>(1) 学生の生活面における総合的な指導・相談・助言等(メンタルヘルス・ハラスメントに関するものを含む。)の体制が整備されているか。(複数チェック可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学生相談室</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保健室</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 相談員やカウンセラーの配置</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ハラスメント等の相談体制</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学生に対する相談の案内等</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇チェックした項目の整備状況が確認できる資料(生活指導の体制、指導内容、組織図、関連規程、学生への周知・案内文等)</p> <p>資料3-2-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校学生相談専門委員会規則</p> <p>資料3-2-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校学生相談室規則</p> <p>資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)</p> <p>資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)</p> <p>資料2-5-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校事務部組織規則</p> <p>資料3-2-1-(1)-03_R7学生相談室パンフレット</p> <p>資料3-2-1-(1)-04_阿南工業高等専門学校におけるハラスメントの防止等に関する規則</p> <p>資料3-2-1-(1)-05_阿南工業高等専門学校人権教育推進専門委員会規則</p> <p>資料3-2-1-(1)-03_R7学生相談室パンフレット</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。</p>	<p>学生相談室の運営・業務に関する事項等を審議する委員会の規則</p> <p>学生生活の中で生じる様々な問題について相談するための体制として学生相談室を設置している。</p> <p>「高専生活のてびき」(学生便覧に相当)に学生相談室の利用(p37-38)について掲載し、学生へ周知している。</p> <p>「高専生活のてびき」(学生便覧に相当)に保健室の利用(p37)について掲載し、学生へ周知している。</p> <p>規則第13条第4項第18号に学生課の業務分掌として保健施設の管理・運営に関することを定めている。</p> <p>学生相談室における相談員及びカウンセラーの体制について掲載し、学生へ周知している。</p> <p>ハラスメントの防止等に関する規則を定め、ハラスメントの防止等を適切に実施するためのハラスメント防止委員会を設置している。</p> <p>学生等に対する人権教育(いじめを含む。)に関する事項を審議する委員会の規則</p> <p>学生相談室のパンフレットを作成し、学生へ周知している。</p>	<p>再掲</p> <p>再掲</p> <p>再掲</p> <p>再掲</p>
<p>(2) 健康相談・保健指導が定期的実施されていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 実施されている      <input type="radio"/> 実施されていない</p>	<p>◇各取組の実施状況が確認できる資料(過去3年度分の実施要項、学生への周知・案内文等)</p> <p>資料3-2-1-(2)-01_学生相談室利用件数報告</p> <p>資料3-2-1-(2)-02_保健室来室者数</p> <p>資料3-2-1-(2)-03_令和4～6年度定期健康診断実施計画書</p>	<p>令和6年度における学生相談室の利用件数及び相談内容についての実績</p> <p>令和6年度における保健室の利用件数及び利用内訳についての実績</p> <p>令和4年度から令和6年度における定期健康診断の実施内容</p>	
<p>(3) 法令等(いじめ防止対策推進法、いじめの防止等のための基本的な方針)に基づき、いじめの防止、早期発見、対処等に関する体制が整備されていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 整備されている      <input type="radio"/> 整備されていない</p>	<p>◇実施体制等が確認できる資料(基本方針、マニュアル、関係規程等)</p> <p>資料3-2-1-(3)-01_いじめの防止等基本計画</p>	<p>いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するために定めたもの</p>	

	資料3-2-1-(3)-02_阿南工業高等専門学校いじめ対策委員会規則	いじめの防止に向けた取組、いじめの事実関係の調査並びに対策等に関する事項を審議する体制として、いじめ対策委員会を設置している。	
<b>観点3-2-② 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行う体制が整備されていること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 留学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。  ● 整備されている      ○ 整備されていない	◇整備状況が確認できる資料(関係規程、留学生指導教員・学生チューターの配置状況等) 資料3-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員組織規則 資料3-2-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校グローバル推進室規則 資料3-2-2-(1)-03_特別な支援が必要と考えられる学生の支援担当組織について ◇学生向け周知資料(学生生活の手引き等) 資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)	規則第15条第3項に編入学生の学習及び生活に対する支援体制が規定されている。 留学生の教育、生活支援に関する業務を行う体制としてグローバル推進室を設置している。 留学生に対する特別な支援を行う組織を定めている。 「高専生活のてびき」(学生便覧に相当)に外国人留學生規則(p178)、外国人留學生学生相談員(チューター)実施要項(p181)等を掲載し、留學生への支援体制について周知している。	再掲
(2) 編入学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。  ● 整備されている      ○ 整備されていない	◇整備状況が確認できる資料(関係規程等) 資料3-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員組織規則 資料3-2-2-(1)-03_特別な支援が必要と考えられる学生の支援担当組織について ◇学生向け周知資料(学生生活の手引き等) 資料3-2-2-(2)-01_特別な支援が必要な学生の相談窓口(HP)	規則第15条第3項に留学生の学習及び生活に対する支援体制が規定されている。 編入学生に対する特別な支援を行う組織を定めている。 特別な支援が必要な学生の相談窓口についてHPで学生等に周知している。	再掲 再掲
(3) 社会人学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。  ● 整備されている      ○ 整備されていない	◇整備状況が確認できる資料(関係規程等) 資料3-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員組織規則 資料3-2-2-(1)-03_特別な支援が必要と考えられる学生の支援担当組織について ◇学生向け周知資料(学生生活の手引き等) 資料3-2-2-(2)-01_特別な支援が必要な学生の相談窓口(HP)	規則第15条第3項に社会人学生の学習及び生活に対する支援体制が規定されている。 社会人学生に対する特別な支援を行う組織を定めている。 特別な支援が必要な学生の相談窓口についてHPで学生等に周知している。	再掲 再掲 再掲
(4) 障害のある学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。  ● 整備されている      ○ 整備されていない	◇整備状況が確認できる資料(関係規程、対象学生の把握方法・対応事例等) 資料3-2-2-(4)-01_合理的配慮の申請に関する申し合わせ 資料3-2-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校学生相談専門委員会規則 資料3-2-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校学生相談室規則 資料3-2-2-(1)-03_特別な支援が必要と考えられる学生の支援担当組織について 資料3-2-2-(4)-02_阿南高専学生支援組織体制図 ◇学生向け周知資料(学生生活の手引き等) 資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)	心身に障がい有する等、修学上特別な支援を必要とする学生を支援するための合理的配慮に関する申し合わせを定めている 学生相談室の運営・業務の実施に関する事項等について審議する体制として学生相談専門委員会を設置している。 心身に障がい有する等、修学上特別な支援を必要とする学生への支援に関する事項を行う体制として学生相談室を設置している。 障害のある学生に対する特別な支援を行う組織を定めている。 学生支援に関する組織体制図 「高専生活のてびき」(学生便覧に相当)に学生相談室の利用(p37-38)について掲載し、学生へ周知している。	再掲 再掲 再掲 再掲
(5) 障害者差別解消法第5条及び第7条又は第8条(第9条、第10条、第11条の関係条項も含む。)に対応していること。  ● 対応している      ○ 対応していない	◇対応状況が確認できる資料(関係規程、対応要領、相談窓口の設置状況等) 資料3-2-2-(4)-01_合理的配慮の申請に関する申し合わせ 資料3-2-2-(4)-02_阿南高専学生支援組織体制図	心身に障がい有する等、修学上特別な支援を必要とする学生を支援するための合理的配慮に関する申し合わせを定めている 学生支援に関する組織体制図	再掲 再掲
(6) 上記以外の特別な支援を行っているか。	◆左記について、該当する取組があれば、資料を基に記述する。		

<input checked="" type="radio"/> 行っている <input type="radio"/> 行っていない	資料3-2-2-(6)-01_ピアサポートの取り組みについて	学生に寄り添う学生支援体制としてピアサポートを構築している。ピアサポーターによる学習スペースでの自習指導を実施している。また、eスポーツ活動を通じて学生が互いに教えあえる機会を提供している。	
---	--------------------------------	---	--

**観点3-2-③ 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能していること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)  資料3-2-3-(1)-01_阿南工業高等専門学校キャリア支援室規則	キャリア教育の企画及び実施、就職及び進学ガイダンス等の企画及び実施等の業務を行う体制としてキャリア支援室を設置している。	
(2) (1)の体制の下、就職や進学等の進路指導を含めたキャリア教育に関して、学校としてどのような取組を行っているか。(複数チェック可) <input checked="" type="checkbox"/> キャリア教育に関する研修会・講演会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 進路指導用マニュアルの作成 <input checked="" type="checkbox"/> 進路指導ガイダンスの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 進路指導室  <input type="checkbox"/> 進路先(企業)訪問 <input checked="" type="checkbox"/> 進学・就職に関する説明会  <input checked="" type="checkbox"/> 資格試験や検定試験のための補習授業や学習相談 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得による単位修得の認定  <input type="checkbox"/> 外国留学に関する手続きの支援、単位認定、交流協定の締結等 <input type="checkbox"/> その他	◇チェックした項目の取組状況が確認できる資料(関係規程、実施要項、マニュアル、連携協定等) 資料3-2-3-(2)-01_R6年度 LHR計画 資料3-2-3-(2)-02_企業研究セミナーの手引き 資料3-2-3-(2)-03_キャリアデザイン1シラバス 資料3-2-3-(1)-01_阿南工業高等専門学校キャリア支援室規則 資料3-2-3-(2)-04_キャリア支援室HP  資料3-2-3-(2)-05_令和6年度企業研究セミナーを開催 資料3-2-3-(2)-06_大学説明会案内 資料3-2-3-(2)-07_技能検定についての学生向け講座 資料3-2-3-(2)-08_阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則  ◆その他の項目をチェックした場合は、具体的な内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。	1年から3年のLHRにおいてキャリア教育に関する講演会等を実施している。  本校で開催する企業を招いての説明会に対する手引き  毎週1コマの講義を設け、進路指導に関するガイダンスを実施している。  キャリア教育の企画及び実施、就職及び進学ガイダンス等の企画及び実施等の業務を行う体制としてキャリア支援室を設置している。  キャリア支援室のHP。就職支援イベント、卒業生の進路等の情報を掲載している。  本校で開催する企業を招いての説明会を実施している。令和6年度は阿南高専生への求人希望する企業が県内外から364社参加した。  大学関係者を招いて進学説明会を開催している。  資格試験等について、学習資料を作成して希望する学生への講座を行っている。  資格取得による単位取得の認定を行っている。対象となる資格一覧は「高専生活のてびき」(学生便覧に相当)に掲載し、学生へ周知している。	再掲

**観点3-2-④ 学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行う体制が整備されていること**

直近の認証評価において本観点到に係る「改善を要する点」の指摘がなく、各項目の内容に大きな変更がない場合は、本観点的分析は不要。その場合、下記「直近の認証評価における指摘等なし」にチェックすること。

直近の認証評価における指摘等なし

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生の課外活動に対する支援体制が整備されていること。  <input type="radio"/> 整備されている <input checked="" type="radio"/> 整備されていない	◇支援体制等が確認できる資料(関係規程、組織図、施設の整備状況が確認できる資料等)		
(2) (1)の体制において、責任の所在が明確になっていること。  <input type="radio"/> 明確になっている <input checked="" type="radio"/> 明確になっていない	◇(1)の体制において、責任の所在が確認できる資料(関係規程等)		

(3) (1)の体制は「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(平成30年3月 スポーツ庁)に基づいたものになっているか。【より望ましい取組として分析】  <input type="radio"/> なっている <input checked="" type="radio"/> なっていない	◇運動部活動の方針、活動時間・休養日に関する規定、地域のスポーツ団体との連携が確認できる資料等		

**観点3-2-⑤ 学生寮を学生の生活及び勉学の場として整備していること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生寮が整備されているか。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇整備状況が確認できる資料(関係規程等)  資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則  資料3-2-5-(1)-01_阿南工業高等専門学校学寮規則  資料1-1-1-(2)-06_阿南工業高等専門学校寮務委員会規則	学則第51条のとおり学生寮を設置し、その他必要な事項を学寮規則で定めている。管理・運営に関する事項を審議する体制として寮務委員会を設置している。  学寮の設置目的や管理体制、入退寮や自治等を規定し、学寮の共同生活を充実させる事項について規則で定めている。  学生寮を整備し、その管理・運営に関する事項を審議する体制として寮務委員会を設置している。	再掲    再掲
(2) 生活の場として整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇生活支援の内容が確認できる資料(寮生のしおり等)  資料3-2-5-(2)-01_寮生活のしおり	寮生活の心構え、日課、注意事項等をまとめたもの	
(3) 勉学の場として整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇学習支援の内容が確認できる資料(自習室の整備状況、自習時間の設定が確認できる資料等)  資料3-2-5-(2)-01_寮生活のしおり	日課表を2ページ目に掲載している。日課として第一自習及び第二自習を設定している。	再掲
(4) 管理・運営体制が整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇管理・運営体制が確認できる資料(関係規程等)  資料1-1-1-(2)-06_阿南工業高等専門学校寮務委員会規則	学生寮の管理・運営に関する事項を審議する体制として寮務委員会を設置している。	再掲
(5) 学生の意見等を把握し、改善する体制が整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇実施体制等が確認できる資料(関係規程等、学生からの意見を集約するための仕組みを示す資料(目安箱等))  資料3-2-5-(5)-01_R5第15回寮務委員会議事要旨  資料3-2-5-(5)-02_寮生目安箱 (2種類)  資料3-2-5-(5)-03_寮生目安箱について(HP)  資料3-2-5-(5)-04_役員寮生合同研修会	審議5にて目安箱に投稿のあった学生の意見について協議し、改善に向けての検討を行った。  学生管理システムを利用して目安箱を2種類(①意見収集用 ②いじめ等の情報収集用)設置している。  寮生からの意見・要望を申し出ることができる目安箱の設置についてHPで周知している。  役員寮生合同研修会4実施内容(4)その他 において寮生が意見を出せる機会を設けている。	

**観点3-2-⑥ 学生に対する経済面での援助が行われていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
--------------------------	-------------------	----	----

(1) 経済面での相談・助言・支援が行われているか。(複数チェック可)		◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料(学生便覧、関係規程、ウェブサイトでの明示、学生への周知・案内文等)		
<input checked="" type="checkbox"/> 相談・助言		資料3-2-1-(1)-03_R7学生相談室パンフレット	学生相談室では分野を限定せず相談を受け付けており、経済的な相談についても相談を受け付けている。	再掲
		資料3-2-6-(1)-01_経済面での相談・助言	令和6年度における経済面での相談・助言についての実績。	
<input checked="" type="checkbox"/> 奨学金		資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき (令和7年度)	奨学金申請の手続きについて「高専生活のてびき」P75-81(学生便覧に相当)に掲載し、学生に周知している。また学習管理システムmanabaを通じて案内を出し、学生に周知している。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 入学科・授業料減免等		資料3-2-6-(1)-02_令和7年度入学手続案内	「7高等学校等就学支援金及び入学料免除等について」において、新入生向けに入学料の免除及び徴収猶予に案内している。	
		資料3-2-6-(1)-03_令和7年度【前期】授業料免除申請要項	授業料免除について申請要項を定めて周知を行っている。	
<input type="checkbox"/> 特待生				
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急時の貸与等の制度		資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき (令和7年度)	緊急時貸与について出願資格、採用方法について「高専生活のてびき」P77(学生便覧に相当)に掲載し、学生に周知している。	再掲
<input type="checkbox"/> その他		◆その他の項目をチェックした場合は、具体的な内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		

**3-2 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし				

**領域3**

**優れた点**

「専門分野において情報技術を駆使し、課題解決ができる人材の育成」を目的とし、令和7年度から既存の情報コースに加え、機械・電気・建設・化学の全コースに新たな情報プログラムを設置し、高度情報専門人材の育成に取り組む。この事業は文部科学省「令和5年度大学・高専機能強化支援事業(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)」に採択されている。キャリア教育の一環として学生が早期に多くの企業を知る機会を設けるため、企業研究セミナーを開催している。毎年、阿南高専生への求人を希望する企業が県内外から多数参加し、高専生を対象とした企業研究セミナーとしては最大規模である。				
		資料3-2-3-(2)-05_令和6年度企業研究セミナーを開催		再掲

**改善を要する点**

該当なし				

領域4 財務基盤及び管理運営

基準			
4-1 財務運営が学校の目的に照らして適切であること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点4-1-① 学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表され、また、財務に係る監査等が適正に行われていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 法令等に基づき、財務諸表等が作成・公表されていること。  ◎ 公表されている      ○ 公表されていない	◇作成・公表状況が確認できる資料(【様式2-4】ウェブサイト掲載項目チェック表等)  【様式2-4】ウェブサイト掲載項目チェック表	財務諸表等の令和6年度版は文部科学大臣承認前の暫定版のため、文部科学大臣承認後に、ウェブサイトに正式版をアップロードいたします。	再掲
(2) 財務に係る監査等が実施されていること。  ◎ 実施されている      ○ 実施されていない	◇監査等が実施されていることが確認できる資料(学内会計監査規程等(科学研究費助成事業等の外部資金に関する監査規程も含む。)) 資料4-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校内部会計監査規則  ◇監査報告書等(外部監査、学内監査の監査報告書) 資料4-1-1-(2)-02_令和5年度 監査法人往査結果報告書 資料4-1-1-(2)-03_令和5年度 内部監査の結果報告書	阿南工業高等専門学校内部会計監査規則により、内部監査を実施している。また、高専間相互監査を実施している。  令和5年度会計監査人である有限責任監査法人トーマツにより、令和5年11月20日～令和5年11月21日に高専往査を実施。  令和5年9月15日～令和5年10月3日に内部監査を実施。	
観点4-1-② 教育研究活動に必要な予算が配分され、経費が執行されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 過去5年間の財務状態が適切な状況となっていること。  ◎ なっている      ○ なっていない	◇設置者の貸借対照表等の財務諸表等(過去5年間) 資料4-1-2-(1)-01_財務諸表(令和5年度) 資料4-1-2-(1)-02_財務諸表(令和4年度) 資料4-1-2-(1)-03_財務諸表(令和3年度) 資料4-1-2-(1)-04_財務諸表(令和2年度) 資料4-1-2-(1)-05_財務諸表(令和6年度)	令和5年度の財務諸表 令和4年度の財務諸表 令和3年度の財務諸表 令和2年度の財務諸表 令和6年度の財務諸表 ※当該ファイルは文部科学大臣承認前の暫定版となっておりますので、申し訳ございませんが、文部科学大臣承認後にはファイルを差し替えさせていただきます。	
(2) 過去5年間の収支状況が適切となっていること。  ◎ 適切となっている      ○ 適切となっていない	◇設置者の損益計算書(過去5年間) 資料4-1-2-(2)-01_損益計算書(令和5年4月1日～令和6年3月31日) 資料4-1-2-(2)-02_損益計算書(令和4年4月1日～令和5年3月31日) 資料4-1-2-(2)-03_損益計算書(令和3年4月1日～令和4年3月31日) 資料4-1-2-(2)-04_損益計算書(令和2年4月1日～令和3年3月31日) 資料4-1-2-(2)-05_損益計算書(令和6年4月1日～令和7年3月31日)	令和5年度の損益計算書 令和4年度の損益計算書 令和3年度の損益計算書 令和2年度の損益計算書 令和6年度の損益計算書 ※当該ファイルは文部科学大臣承認前の暫定版となっておりますので、申し訳ございませんが、文部科学大臣承認後にはファイルを差し替えさせていただきます。	

<p><b>4-1 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			
<p>該当なし</p>			
<p><b>基準</b>  <b>4-2 管理運営体制が整備され、機能していること</b></p>			
<p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)                  以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。  <input checked="" type="radio"/> 満たしている      <input type="radio"/> 満たしていない</p>			
<p><b>観点4-2-① 学校の管理運営体制が、適切な規模と機能を有していること</b></p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>	<p>備考</p>	<p>再掲</p>
<p>(1) 管理運営体制に関する規程等が整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている      <input type="radio"/> 整備されていない</p>	<p>◇管理運営に関する諸規程、整備状況が確認できる資料                  資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則                  資料1-1-1-(2)-02_阿南工業高等専門学校運営委員会規則                  資料4-2-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員会議規則</p>	<p>学則第8条から第11条に教職員、事務部、技術部、内部組織について規定している。                  本校の教育・研究及び管理運営に関して審議する組織の規則                  本校の管理運営方針および教育研究方針に関して審議する組織の規則</p>	<p>再掲 再掲</p>
<p>(2) 委員会等の体制が整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている      <input type="radio"/> 整備されていない</p>	<p>◇諸規程、整備状況が確認できる資料(組織図等)                  資料1-1-1-(2)-02_阿南工業高等専門学校運営委員会規則                  資料3-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員組織規則</p>	<p>本校の教育・研究及び管理運営に関して審議する組織の規則                  役職および委員会組織等について定めた規則</p>	<p>再掲 再掲</p>
<p>(3) 校長、副校長、主事等の役割分担が明確になっていること。  <input checked="" type="radio"/> なっている      <input type="radio"/> なっていない</p>	<p>◇学校の管理運営に携わることとされている者の役割分担が確認できる資料                  資料3-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員組織規則</p>	<p>役職および委員会組織等について定めた規則</p>	<p>再掲</p>
<p><b>観点4-2-② 法令遵守に係る取組及び危機管理に係る取組のための体制が整備されていること</b></p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>	<p>備考</p>	<p>再掲</p>
<p>(1) 学校として、責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制が整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている      <input type="radio"/> 整備されていない</p>	<p>◇【様式2-7】法令遵守事項、危機管理体制等一覧                  資料4-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校危機管理規則                  資料4-2-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校防災規則</p>	<p>危機管理の対象、危機管理のための校長等の責務について定めた規則                  防火管理者、防災責任者及び火元責任者等を定めた規則</p>	
<p>(2) 危機管理マニュアル、学校防災マニュアル等が整備されていること。  <input checked="" type="radio"/> 整備されている      <input type="radio"/> 整備されていない</p>	<p>◇危機管理マニュアル、学校防災マニュアル等                  資料4-2-2-(2)-01_阿南工業高等専門学校危機管理マニュアル</p>	<p>危機管理体制および事象別の危機管理等についてまとめたマニュアル</p>	

<p>(3) (2)に基づき、定期的に訓練を行うなど、危機に備えた活動が行われていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 行われている                      <input type="radio"/> 行われていない</p>	<p>◇訓練や講習会等の実施に関する規程・計画等</p> <p>資料4-2-2-(3)-01_阿南工業高等専門学校防災訓練実施要領</p> <p>資料4-2-2-(3)-02_学寮防災訓練実施計画書</p>	<p>全教職員および全学生による防災訓練の実施要項。防災訓練は毎年1回実施している。</p> <p>学寮における防災訓練の実施計画書。学寮の防災訓練は毎年2回実施している。</p>	
<p><b>観点4-2-③ 学校として持続的な研究成果が創出されるような研究環境の整備や充実に向けた体制の整備や措置が組織的に図られているか【より望ましい取組として分析】</b></p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)</p> <p>(1) 教員に対して研究の水準の維持向上及び活性化を図るために行っている措置や制度があるか。(複数チェック可)【より望ましい取組として分析】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学位取得に関する支援</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 教員表彰制度の導入</p> <p><input type="checkbox"/> 企業研修への参加支援</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 校長裁量経費等の予算配分</p> <p><input type="checkbox"/> ゆとりの時間確保策の導入</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> サバティカル制度の導入</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 他の高等教育機関・研究機関との人事交流</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料(関係規程、実績等)</p> <p>資料4-2-3-(1)-01_独立行政法人国立高等専門学校機構教職員就業規則</p> <p>資料4-2-3-(1)-02_職務専念義務免除願(令和様式)</p> <p>資料2-4-3-(1)-01_阿南高専教職員表彰要領</p> <p>資料4-2-3-(1)-03_高志賞表彰記録・内容</p> <p>資料4-2-3-(1)-04_R6年度重点事項経費配分予算</p> <p>資料4-2-3-(1)-05_サバティカル実施要領</p> <p>資料4-2-3-(1)-06_令和4年度第4回教員人事戦略委員会議事要旨</p> <p>資料4-2-3-(1)-07_高専と両技科大との教員交流実施要項</p> <p>資料4-2-3-(1)-08_高専と両技科大との教員交流実績(過去10年)</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、具体的な内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。</p>	<p>備考</p> <p>第34条第8項に学位取得のための職務専念義務免除について記載がある。</p> <p>職務専念義務免除願の様式であり、摘要条項に研究論文指導等とある。</p> <p>教育・研究で優れた業績をあげた教員を表彰(20万円を校長裁量経費より配分)</p> <p>被表彰者は資料4-2-③-(1)-02_高志賞表彰記録・内容のとおり</p> <p>校長裁量経費の当初予算配分については、資料4-2-③-(1)-03_6年度重点事項経費配分予算のとおり</p> <p>サバティカル実施要領により、希望教員の照会を行い実施</p> <p>議事要旨のとおり令和5年度、申請のあった教員について教員人事戦略委員会において承認し、1年間サバティカル活動を行った。</p> <p>高専と両技科大との教員交流実施要項により、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学との教員交流について希望者を募っている。</p> <p>過去10年間の豊橋技術科学大学および長岡技術科学大学との教員交流実績</p>	<p>再掲</p> <p>再掲</p>
<p>(2) 研究を促進するため、研究施設・設備を有効に活用する工夫に努めているか。【より望ましい取組として分析】</p> <p><input checked="" type="radio"/> 努めている                      <input type="radio"/> 努めていない</p>	<p>◇関係規程、活用計画や実績等</p> <p>資料1-1-1-(2)-08_阿南工業高等専門学校地域連携・テクノセンター委員会規則</p> <p>資料4-2-3-(2)-01_令和6年度第4回地域連携・テクノセンター委員会議事要旨</p> <p>資料4-2-3-(2)-02_令和6年度第4回地域連携・テクノセンター委員会資料</p> <p>資料4-2-3-(2)-03_令和6年度第6回地域連携・テクノセンター委員会議事要旨</p> <p>資料4-2-3-(2)-04_令和6年度第6回地域連携・テクノセンター委員会資料</p> <p>資料4-2-3-(2)-05_包括連携協力協定書(徳島県)</p> <p>資料4-2-3-(2)-06_徳島県立工業技術センター利用許可書</p>	<p>創造テクノセンター棟のプロジェクト室等を希望教員に貸し出し、研究施設を使用できる体制がある。</p> <p>創造テクノセンター棟のプロジェクト室等を希望教員に貸し出しを決定した議事要旨</p> <p>創造テクノセンター棟のプロジェクト室等を希望教員に貸し出しを決定した委員会資料</p> <p>創造テクノセンター棟の実験室2を希望教員に貸し出しを決定した議事要旨</p> <p>創造テクノセンター棟の実験室2を希望教員に貸し出しを決定した委員会資料</p> <p>徳島県と施設及び機器等の共同利用に関すること等、包括協定を提携している。</p> <p>包括協定に基づき、徳島県立工業技術センターの部屋を2室借り、研究を行っている。</p>	<p>再掲</p>
<p>(3) 外部の財務資源(科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄附金等)を積極的に受け入れる取組が行われているか。【より望ましい取組として分析】</p> <p><input checked="" type="radio"/> 行われている                      <input type="radio"/> 行われていない</p>	<p>◇過去5年間の外部の財務資源の受入れの取組及び受入実績に関する資料</p> <p>資料4-2-3-(3)-01_阿南高専クラウドファンディング</p> <p>資料4-2-3-(3)-02_阿南高専クラウドファンディング実施結果</p> <p>資料4-2-3-(3)-03_エンジニア育成基金(高度情報教育推進事業)趣意書</p> <p>資料4-2-3-(3)-04_エンジニア育成基金(高度情報教育推進事業)阿南高専ホームページ</p>	<p>クラウドファンディングによる寄附金の募集を行った。</p> <p>クラウドファンディングによる寄附金の実施結果を示している。</p> <p>阿南高専エンジニア育成基金を趣意書を作成し、寄附金の募集を行っている。</p> <p>阿南高専エンジニア育成基金について、本校HPIに募集案内を掲載し広報活動を行っている。</p>	

	資料4-2-3-(3)-05_エンジニア育成基金（高度情報教育推進事業）悠久同窓会ホームページ	阿南高専エンジニア育成基金について、悠久同窓会HPに募集案内を掲載し広報活動を行っている。	
	資料4-2-3-(3)-06_科研費説明会	毎年、科研費採択者による科研費獲得のための説明会を行っている。	
	資料4-2-3-(3)-07_外部資金等受入実績（令和6年度）	令和6年度の外部資金等受入実績を示している。	
	資料4-2-3-(3)-08_外部資金等受入実績（令和5年度）	令和5年度の外部資金等受入実績を示している。	
	資料4-2-3-(3)-09_外部資金等受入実績（令和4年度）	令和4年度の外部資金等受入実績を示している。	
	資料4-2-3-(3)-10_外部資金等受入実績（令和3年度）	令和3年度の外部資金等受入実績を示している。	
	資料4-2-3-(3)-11_外部資金等受入実績（令和2年度）	令和2年度の外部資金等受入実績を示している。	
(4)教員・学生・研究に携わる職員に対して研究倫理に関する必要な研修等を実施する体制があるか。【より望ましい取組として分析】	◇実施体制・実施方針・内容・方法が確認できる資料(体制図、研究倫理規程等の関係規程、公的研究費等使用マニュアル等)		
● 体制がある ○ 体制がない	資料4-2-3-(4)-01_研究倫理教育の実施について	高専機構本部からの通知「研究倫理教育の実施について」。1頁の「1. 実施方法についての」CITI Japan プロジェクトが、現在のAPRIN eラーニングプログラムであり、これに基づき本校は受講している。	
	資料4-2-3-(4)-02_研究倫理教育（APRIN_eラーニングプログラム）の受講について【対象者へ周知文】	高専機構本部からの通知「研究倫理教育の実施について」に基づき教職員及び専攻科生においては、APRIN eラーニングプログラムを受講案内を行っている。なお、専攻科1年生は後期の総まとめ科目開始時、専攻科2年生は前期の履修計画書提出後に受講案内を行っている。	
	資料4-2-3-(4)-03_研究倫理教育（APRIN_eラーニングプログラム）教職員修了状況（非公開）	APRIN eラーニングプログラム(2024年度)教職員修了状況	
	資料4-2-3-(4)-04_研究倫理教育（APRIN_eラーニングプログラム）専攻科生修了状況（非公開）	APRIN eラーニングプログラム(2024年度)専攻科修了状況	
	資料4-2-3-(4)-05_公的研究費使用マニュアル	研究費の使用にあたっての注意事項、研究費の契約にあたっての注意事項等をまとめたマニュアル	
	資料4-2-3-(4)-06_開講一般教養1倫理_技術者倫理シラバス	本科4年生を対象に開講している倫理において、技術者としての基本的倫理観を考える授業を行っている。	
	資料4-2-3-(4)-07_開講一般教養4法学_知的財産制度シラバス	本科4年生を対象に開講している法学において、知的財産制度について扱われている。	
	資料4-2-3-(4)-08_阿南高専知財活動資料	本科学生に知財教育を実施し、特許侵害等について講演を行っている。	
(5)(1)～(4)の学校としての取組により、持続的に研究成果が創出されていることを確認する。【より望ましい取組として分析】	◇持続的に研究成果が得られていることが確認できる資料		
● 確認できる ○ 確認できない	資料4-2-3-(5)-01_技術の光vol.29	研究活動、地域連携活動等の実績について地域連携・テクノセンター委員会から発行している冊子。毎年度、学外論文や外部資金リストを掲載し、持続的に研究成果が得られていることが分かる。	
<b>観点4-2-4 学校の組織的な取組として行う地域における連携による活動について、その推進に向けた体制の整備や措置が図られているか【より望ましい取組として分析】</b>			
	自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考
(1)地域貢献活動・地域との連携による活動に係る計画が策定されるとともに、改善を図るための体制が整備されているか。【より望ましい取組として分析】	● 整備されている ○ 整備されていない	◇実施方針・実施体制が確認できる資料(関係規程、関係委員会会議資料、議事要旨等)	再掲
		資料1-1-1-(2)-08_阿南工業高等専門学校地域連携・テクノセンター委員会規則	地域貢献活動等の計画の策定・改善が図られるための体制がある。
		資料4-2-4-(1)-01_令和7年度第1回地域連携・テクノセンター委員会議事要旨	議事要旨(4)地域連携・テクノセンター長報告の「令和6年度年度計画策定」及び「令和7年度年度計画」のとおり、地域貢献活動等の計画を策定し、改善が図られている。
		資料4-2-4-(1)-02_令和7年度第1回地域連携・テクノセンター委員会資料	資料のとおり、地域連携・テクノセンター委員会において、地域貢献活動等の計画の策定・改善が図られている。
(2)外部の教育・研究資源が活用されているか。【より望ましい取組として分析】	● 活用されている ○ 活用されていない	◇活用状況が確認できる資料(関係規程、協定一覧、連携事業の実績等)	
		資料4-2-4-(2)-01_産官学・海外大学等協定締結状況	地方自治体、海外大学等との協定締結状況一覧

	◆外部資源の活用により、学校としての優れた成果を上げていることを確認する。		
	資料4-2-4-(1)-01_令和7年度第1回地域連携・テクノセンター委員会議事要旨	議事要旨 2頁目 (8)産学連携高度レーザー基盤研究部門報告に掲載のとおり、徳島大学pLED への卒研生派遣3名が決定した。	再掲
(3)(1)～(2)の学校としての取組により、優れた成果が上げられているか。【より望ましい取組として分析】	◇優れた成果が得られていることが確認できる資料		
<input checked="" type="radio"/> 上げられている <input type="radio"/> 上げられていない	資料4-2-4-(3)-01_教員顕彰受賞者一覧・業績概要	教員2名が高専機構本部の優秀賞を受賞した。	
<b>4-2 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			
<b>基準</b> <b>4-3 管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること</b>			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
<b>観点4-3-① 適切な規模と機能を有する管理運営を円滑に行うための事務組織が整備されていること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 管理運営を行う事務組織の体制が規程等に基づき整備されていること。	◇体制について定めた規程等		
<input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	資料2-5-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校事務部組織規則	事務組織の役職および役割分担について定めている。	再掲
<b>観点4-3-② 管理運営体制及び管理運営を円滑に行うための事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組(スタッフ・ディベロップメント*)が組織的に行われていること</b> <b>*スタッフ・ディベロップメント(以下、「SD」という。)</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) SDが組織的に実施されていること。	◇実施体制・実施方針・内容・方法が確認できる資料(SDの実施方針、委員会規程、委員会等の組織関係図等)、実施状況一覧		
<input checked="" type="radio"/> 実施されている <input type="radio"/> 実施されていない	資料2-4-4-(1)-01_阿南工業高等専門学校FD・SD委員会規程	教職員のファカルティディベロップメント及びスタッフディベロップメントに関する事項について審議する組織としてFD・SD委員会を設置している。	再掲
	資料2-4-4-(2)-01_FD・SD実施研修一覧	最近のFD・SDに関して実施した研修一覧	再掲
<b>4-3 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

該当なし			

**基準**  
4-4 教員と事務職員等との役割分担が適切であり、連携体制が確保されていること

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

満たしている       満たしていない

**観点4-4-① 教員と事務職員等の適切な役割分担の下、必要な連携体制が確保されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教員、事務職員や技術職員の適切な役割分担の下、必要な連携体制が確保されていること。  <input checked="" type="radio"/> 確保されている <input type="radio"/> 確保されていない	◇全校的な委員会等の体制が確認できる資料(関係規程等) ◇校務分掌・分担の一覧等		
	資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則	学則第8条から第11条に教職員、事務部、技術部、内部組織について規定している。	再掲
	資料2-5-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校事務部組織規則	事務組織の役割および役割分担について定めている。	再掲
	資料4-4-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校技術部組織規則	技術部組織の役割および役割分担について定めている。	
	資料2-2-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校組織図	本校の組織図。技術部および事務部の系統図も示している。	再掲
	資料4-2-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員会議規則	教員会議には第3条で定める通り技術部職員、事務部長、総務課長及び学生課長も参加し、情報の共有・連携を図っている。	再掲

4-4 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし			

**基準**  
4-5 学校の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

満たしている       満たしていない

**観点4-5-① 法令等が公表を求める事項が公表されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 法令に従い、以下の教育情報が適切に公表されていること。(すべての項目にチェック必須)	【様式2-4】ウェブサイト掲載項目チェック表		再掲

<input checked="" type="checkbox"/> 教育研究上の基本組織			
<input checked="" type="checkbox"/> 学校の教育上の目的及び学校教育法施行規則第165条の2第1項の規定により定める方針			
<input checked="" type="checkbox"/> 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績			
<input checked="" type="checkbox"/> 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画			
<input checked="" type="checkbox"/> 入学者の選抜に関する事			
<input checked="" type="checkbox"/> 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数、進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況並びに外国人留学生の数			
<input checked="" type="checkbox"/> 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準			
<input checked="" type="checkbox"/> 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境			
<input checked="" type="checkbox"/> 授業料、入学金その他の高等専門学校が徴収する費用			
<input checked="" type="checkbox"/> 高等専門学校が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援			
<input type="checkbox"/> 基幹教員に関する情報		基幹教員制に移行していない。	

**4-5 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし			
------	--	--	--

**領域4**

**優れた点**

該当なし			
------	--	--	--

**改善を要する点**

該当なし			
------	--	--	--

領域5 準学士課程の教育活動の状況

基準			
5-1 DPが具体的かつ明確であること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点5-1-① DPが、学校の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 関係法令やガイドラインを踏まえ、DPが定められていること。 <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇準学士課程のDP		
	資料5-1-1-(1)-01_本科ディプロマ・ポリシー	ガイドラインに沿って本科卒業を認定する方針をDPとして定めている。	
(2) DPが、「何ができるようになるか」に力点を置いたものであり、かつ準学士課程全体、各学科の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)と整合性を有していること。 <input checked="" type="radio"/> 整合性を有している <input type="radio"/> 整合性を有していない	◇準学士課程のDP		
	資料2-1-1-(1)-01_学習・教育目標-DP-CP対応表(本科)	本科DPは「何ができるようになるか」に力点を置いたものであり、本科卒業までに身につけるべき普遍的な能力および専門的能力を定めている。これは、自己評価書Ⅱに記載の各学科の目的にも整合するものである。	再掲
(3) DPが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須) <input checked="" type="checkbox"/> 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力を示している <input checked="" type="checkbox"/> 養成しようとする人材像の内容を示している	◇準学士課程のDP		
	資料5-1-1-(1)-01_本科ディプロマ・ポリシー	本科DP(A)～(E)には、本科卒業時に身に付ける資質・能力を示している。	再掲
	資料5-1-1-(1)-01_本科ディプロマ・ポリシー	本科DPIには、本科が養成しようとする技術者像の内容を示しており、(1)～(5)には各コースの核となる専門知識・技術をあわせて示している。	再掲
5-1 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			

**基準**  
5-2 CPが具体的かつ明確であり、DPと整合していること

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

- 満たしている       満たしていない

**観点5-2-① CPにおいて、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)CPが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須)	◇準学士課程のCP		
<input checked="" type="checkbox"/> どのような教育課程を編成するかを示している	資料5-2-1-(1)-01_本科カリキュラム・ポリシー	本科CPには、(A)～(E)に学習・教育目標を達成するための教育課程の編成方針を示している。	
<input checked="" type="checkbox"/> どのような教育内容・方法を実施するかを示している	資料5-2-1-(1)-01_本科カリキュラム・ポリシー	本科CPには、(1)～(4)に各コースの核となる専門的知識と技術を養成するための教育内容・方法について示している。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 学習成果をどのように評価するかを示している	資料5-2-1-(1)-01_本科カリキュラム・ポリシー	本科CPには、学習成果の評価について示している。	再掲

**観点5-2-② CPがDPと整合性を有していること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 関係法令やガイドラインを踏まえ、CPが定められていること。	◇準学士課程のCP		
<input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	資料5-2-1-(1)-01_本科カリキュラム・ポリシー	関係法令やガイドラインに沿って本科の教育課程を編成する方針を本科CPとして定めている。	再掲
(2) CPが、DPとの整合性を有していること。	◇準学士課程のCP及びDP		
<input checked="" type="radio"/> 整合性を有している <input type="radio"/> 整合性を有していない	資料2-1-1-(1)-01_学習・教育目標-DP-CP対応表(本科)	学習・教育目標-DP-CP対応表には、本科学習・教育目標とDP、CPとの整合関係を示している。	再掲

**5-2 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし

**基準**  
**5-3 教育課程がCPに基づき体系的に編成され、授業科目の内容がDPIに基づき設定されていること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

- 満たしている       満たしていない

**観点5-3-① 教育課程が体系的に編成されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) CPを踏まえて、適切な授業科目が体系的に配置されていること。  ◎ 配置されている      ○ 配置されていない	◇授業科目の配置状況が確認できる資料(カリキュラムマップ、コース・ツリー、学生便覧等)  資料5-3-1-(1)-01_本科・カリキュラムマップ(2025入学)	本科CPに基づき各コースの授業科目を編成しており、本校の学習・教育目標に対応する科目群を体系的に可視化した資料として、2025年度入学生に対するカリキュラムマップを示している。	
(2) 一般教育の充実が配慮されていること。  ◎ 配慮されている      ○ 配慮されていない	◇一般科目教育課程表、会議の議事録等  資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則	学則別表第11に一般教養教育課程を記載している。 平成30(2018)年度入学者に対しては、学内単位として一般科目を合計83単位(うち履修可能単位は81単位)設定しており、令和元(2019)年度以降の入学者に対しては、学内単位として一般科目を合計84単位(うち履修可能単位は79単位)設定している。また、学外単位として資格試験(一般)、協定校単位(一般)を設置している。	再掲
(3) 進級に関する規程が整備されていること。  ◎ 整備されている      ○ 整備されていない	◇進級に関する規程  資料5-3-1-(3)-01_阿南工業高等専門学校進級及び卒業の認定に関する規則	阿南工業高等専門学校進級及び卒業の認定に関する規則 第2条に進級要件について定めている。	

**観点5-3-② 創造力、実践力等を育む教育方法の工夫が図られているか【より望ましい取組として分析】**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 創造力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】  ◎ 行われている      ○ 行われていない	◇教育プログラムの一環として行われている、創造力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料(PBL型の授業や創造型の演習のシラバス、授業教材、受講者数等)  資料5-3-2-(1)-01_事例研究1シラバス 資料5-3-2-(1)-02_事例研究2シラバス 資料5-3-2-(1)-03_システム設計1シラバス 資料5-3-2-(1)-04_システム設計2シラバス	創造力を育む教育の例として、PBL型授業である事例研究1(情報コース)のシラバスを示している。 創造力を育む教育の例として、PBL型授業である事例研究2(情報コース)のシラバスを示している。 創造力を育む教育の例として、PBL型授業であるシステム設計1(情報コース)のシラバスを示している。 創造力を育む教育の例として、PBL型授業であるシステム設計2(情報コース)のシラバスを示している。	

	資料5-3-2-(1)-05_システム創造実習シラバス	創造力を育む教育の例として、PBL型授業であるシステム創造実習(情報コース)のシラバスを示している。	
	資料5-3-2-(1)-06_創造化学実験シラバス(化学)	創造力を育む教育の例として、PBL型授業である創造化学実験(化学コース)のシラバスを示している。	
	資料5-3-2-(1)-07_創造工学実習シラバス(電気)	創造力を育む教育の例として、PBL型授業である創造工学実習(電気コース)のシラバスを示している。	
	◆工夫を行った結果、学生が実践力を発揮し、あげた成果や効果があれば具体的に、資料を基に記述する。		
	資料5-3-2-(1)-08_R6創造工学実習(製作物最終報告書)	創造性を育む教育として令和6年度に実施した創造工学実習(電気コース)の授業成果物を示している。学生の専門である電気電子工学に関する知識や技術だけでなく、デザインやレーザー加工等の他分野の技術を融合させ、ものづくりの楽しさを参加者に伝える工夫を学生自ら議論し、実習成果として実際に文化祭で参加者に体験させた。分野横断的な能力の涵養につながった。	
(2) 実践力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】	◇教育プログラムの一環として行われている、実践力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料(シラバス、授業教材、受講者数等)		
<input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	資料3-2-3-(2)-03_キャリアデザイン1シラバス	実践力を育む教育の例として本科専門共通科目であるキャリアデザイン1のシラバスを示している。キャリアデザイン1は1年～3年を対象としたキャリア教育に関する授業科目である。	再掲
	資料5-3-2-(2)-01_キャリアデザイン2シラバス	実践力を育む教育の例として本科専門共通科目であるキャリアデザイン2のシラバスを示している。キャリアデザイン2は2年～4年を対象とした、キャリアイベントへの参加等自主的なキャリア活動に対して単位を認定する授業科目である。	
	資料5-3-2-(2)-02_インターンシップシラバス(機械)	実践力を育む教育の例として本科4年で実施しているインターンシップ(機械コース)のシラバスを示している。	
	資料5-3-2-(2)-03_インターンシップシラバス(電気)	実践力を育む教育の例として本科4年で実施しているインターンシップ(電気コース)のシラバスを示している。	
	資料5-3-2-(2)-04_インターンシップシラバス(化学)	実践力を育む教育の例として本科4年で実施しているインターンシップ(化学コース)のシラバスを示している。	
	◆工夫を行った結果、学生が実践力を発揮し、あげた成果や効果があれば具体的に、資料を基に記述する。		
	資料5-3-2-(2)-05_R6 校外実習報告書(電気)	実践力を育む教育として、電気コースにおいてインターンシップに取り組んだ学生の成果をまとめた資料として、令和6年度校外実習報告書の一例を示している。	
	資料5-3-2-(2)-06_インターンシップ成果報告(化学)	実践力を育む教育として、化学コースにおいてインターンシップに取り組んだ学生の成果をまとめた資料として、インターンシップ成果報告の一例を示している。	
(3) その他教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】	◇教育プログラムの一環として行われている取組で、(1)(2)以外(例:学生の国際性涵養(かんよう)に向けた教育など)で教育方法の工夫を行っているものがあれば内容を示し、具体的な工夫が確認できる資料を提示する。(シラバス、授業教材、受講者数等)		
<input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	資料5-3-2-(3)-01_電気技術イノベーション実習実施要項	電気コースで実施している電気技術イノベーション実習は、模擬会社の起業、様々な業務の実施を通じて、学生が仮想的な社会人として取り組み、社会人としてのコンピテンシーを育成する授業である。電気技術イノベーション実習の実施要項を示している。	
	◆工夫を行った結果、学生が実践力を発揮し、あげた成果や効果があれば具体的に、資料を基に記述する。		
	資料5-3-2-(3)-02_R6 実習報告会資料_イーテル	令和6年度に実施した電気技術イノベーション実習の授業成果物の一例である。模擬会社として中学生向けのロボット体験プログラムを構築し、ロボットの製作から体験会の運営までを学生自らが行うことで、課題解決能力、チームワーク等の涵養に繋がった。取り組んだ成果をまとめた実習報告会資料を示している。	
(4) (1)～(3)の学校としての取組の結果、優れた成果が上げられているか。【より望ましい取組として分析】	◇これらの取組実績により得られた、学校として優れた成果が確認できる資料		

<input checked="" type="radio"/> 上げられている <input type="radio"/> 上げられていない	資料5-3-2-(3)-02_R6 実習報告会資料_イーテル	電気技術イノベーション実習は、他の高専に先駆けて取り組んでいる授業であり、本校の特徴的な取り組みの一つである。その実習に取り組んだ成果をまとめた実習報告会資料を示している。	再掲
---	--------------------------------	--	----

**5-3 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし			
------	--	--	--

**基準**  
**5-4 DP及びCPIに基づき、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)  
 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。  
 満たしている       満たしていない

**観点5-4-① 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)1年間の授業を行う期間が、定期試験の期間を含め、35週確保されていること。  <input checked="" type="radio"/> 確保されている <input type="radio"/> 確保されていない	◇35週が確保されている状況が確認できる資料(行事予定表、時間割表等)  資料5-4-1-(1)-01_R7授業関係予定表	授業日(前期15週、後期15週)、期末試験日および答案返却日、行事日等で35週を確保している。令和7年度の授業関係の年間予定表を資料として示している。	

**観点5-4-② 特別活動が90単位時間以上実施されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 特別活動が90単位時間以上実施されていること。  <input checked="" type="radio"/> 実施されている <input type="radio"/> 実施されていない	◇特別活動の実施状況が確認できる資料(関係規程、時間割表、特別活動予定表等)  資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則  資料3-2-3-(2)-01_R6年度 LHR計画	学則第13条第7項及び別表第8に特別活動を90単位時間以上実施することを規定している。  特別活動は年間30単位時間(前期14回、後期14回のうち90分での活動を2回実施)、3年間で90単位時間実施している。1年～3年のクラス毎の令和6年度LHR計画表を資料として示している。	再掲  再掲

**観点5-4-③ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること**

直近の認証評価において本観点に係る「改善を要する点」の指摘がなく、各項目の内容に大きな変更がない場合は、本観点の分析は不要。その場合、下記「直近の認証評価における指摘等なし」にチェック☑すること。

直近の認証評価における指摘等なし

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) CPIに照らして、講義、演習、実験、実習の適切な授業形態が採用されていること。 <input type="radio"/> 採用されている <input checked="" type="radio"/> 採用されていない	◇授業形態の開講状況(学科別の授業形態の構成割合等)が確認できる資料    		
(2) 教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。(複数チェック☑可) <input type="checkbox"/> 教材の工夫 <input type="checkbox"/> 少人数教育 <input type="checkbox"/> 対話・討論型授業 <input type="checkbox"/> フィールド型授業 <input type="checkbox"/> 情報機器の活用 <input type="checkbox"/> 基礎学力不足の学生に対する配慮 <input type="checkbox"/> その他	◇チェックした項目の実施体制が確認できる資料(シラバス、事例を示す資料等)    ◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。    		
(3) CPを踏まえて、シラバスの作成要領を示す文書において記載すべき項目が明確に規定され、それに基づきシラバスが適切に作成されていること。 <input type="radio"/> 規定・作成されている <input checked="" type="radio"/> 規定・作成されていない	◇シラバスの作成要領や具体例等が確認できる資料    		
(4) 組織的に、最新のシラバスが漏れなく提示されているかの確認及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っていること。 <input type="radio"/> 行っている <input checked="" type="radio"/> 行っていない	◇組織的な確認の体制が確認できる資料 ◇活用状況を把握する体制が確認できる資料 ◇改善を行った事例がある場合は、改善事例の具体的内容が確認できる資料    		

<p>(5) 設置基準第17条第3項の規定に基づき、授業科目(いわゆる履修単位科目)は1単位当たり30単位時間を確保していること。</p> <p><input type="radio"/> 確保している      <input checked="" type="radio"/> 確保していない</p>	<p>◇状況が確認できる資料(学年暦、時間割、年間行事予定表等)</p>	
<p>(6) (5)の30単位時間授業では、1単位時間を標準50分としていること。</p> <p><input type="radio"/> している      <input checked="" type="radio"/> していない</p>	<p>◇状況が確認できる資料(学則、時間割等)</p> <p>◆1単位時間を50分以外で運用している場合は、標準50分に相当する教育内容を確保していることについて、学校の現状を踏まえ、資料を基に記述する。</p>	
<p>(7)設置基準第17条第4項の規定に基づき 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目(いわゆる学修単位科目)を配置している場合には、授業科目ごとのシラバス、あるいはシラバス集、履修要項等に、1単位の履修時間は授業時間以外の学修等を合わせて45時間であることを明示していること。その際、学則に定める授業形態ごとの単位時間数に応じた授業時間以外の学習が設定されていること。</p> <p><input type="radio"/> 明示・設定されている      <input checked="" type="radio"/> 明示・設定されていない</p>	<p>◇学則(授業形態ごとの授業時間に関する定め)</p> <p>◇明示状況が確認できる資料(シラバス、履修要項、学生便覧等)</p>	<p>学則第13条3に学修単位の授業時間について規定している。</p>

**5-4 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

<p>該当なし</p>
-------------

**基準**  
**5-5 適切な履修指導、支援が行われていること**

<p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 満たしている      <input type="radio"/> 満たしていない</p>
--

**観点5-5-① 学生のニーズに応えるための履修指導の体制が組織として整備され、指導、助言が行われていること**

<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>	<p>備考</p>	<p>再掲</p>
---------------------------------	--------------------------	-----------	-----------

<p>(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における具体的な配慮としてどのようなことを行っているか。(複数チェック可)</p> <p><input type="checkbox"/> 他学科の授業科目の履修を認定</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インターンシップによる単位認定</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 専攻科課程教育との連携</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 資格取得に関する教育</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 他の高等教育機関との単位互換制度</p> <p><input type="checkbox"/> 個別の授業科目内での工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 最先端の技術に関する教育</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	◇チェックした各項目の実施状況が確認できる資料(関係規程、教育課程表、シラバス、実績等)		
	資料5-5-1-(1)-01_R6インターンシップ(校外実習) 本科手引き	4年次に全コースでインターンシップを授業科目(選択科目)として開講している。インターンシップ希望学生に配付しているインターンシップの実施要項、注意事項、保険等についてまとめた手引きを資料として示している。	
	資料5-3-2-(2)-03_インターンシップシラバス(電気)	4年次に開講しているインターンシップ(電気コース)のシラバスを例として示している。	再掲
	資料5-5-1-(1)-02_「創造技術システム工学」教育プログラムおよび「特例適用専攻科」科目履修のてびき	「創造技術システム工学」教育プログラムおよび「特例適用専攻科」科目履修のてびきにおいてJABEE修了要件として、専攻科課程教育との関係性を説明している。	
	資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)	「高専生活のてびき」のp.174-p.177に文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定およびp.29-p.34に教育課程修了後の資格について説明している。	再掲
	資料3-2-3-(2)-08_阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則	資格取得に対する単位認定に関して、阿南工業高等専門学校における文部科学大臣が定める学修に基づく単位認定に関する規則に定めている。	再掲
	資料5-5-1-(1)-03_大阪大学協定書	他の高等教育機関との単位互換に関して、大阪大学工学部との教育研究交流に関する協定書に基づき単位互換制度を設けている。	
	資料5-5-1-(1)-04_徳島大学協定書	他の高等教育機関との単位互換に関して、徳島大学理工学部との教育・研究に関する協定書に基づき単位互換制度を設けている。	
	◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		
	<p>(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 取り扱っている      <input type="radio"/> 取り扱っていない</p>	◇単位互換制度の内容が確認できる資料(関係規程等)	
資料5-5-1-(1)-03_大阪大学協定書		大阪大学工学部との教育研究交流に関する協定書に基づき単位互換制度を適切に運用している。	再掲
資料5-5-1-(1)-04_徳島大学協定書		徳島大学理工学部との教育・研究に関する協定書に基づき単位互換制度を適切に運用している。	再掲
<p>(3) 教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 実施されている      <input type="radio"/> 実施されていない</p>	◇ガイダンス実施要項等		
	資料5-5-1-(3)-01_令和7年度新入生オリエンテーション資料	新入生に対してオリエンテーションを実施し、教務関係および学生関係等について説明している。令和7年度の新入生オリエンテーション資料を示している。	
<p>(4) 特別な支援が必要と考えられる学生に対し、教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか(複数チェック可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 編入学生</p>	◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料(実施日程表、実施要項)		
	◆専攻科生と合同実施の場合は、その説明を記述する。 ◆受入実績がない場合は、その旨の説明と、受け入れた場合の対応方針を記述する。		
資料5-5-1-(4)-01_R7_当初行事予定表(始業式およびオリエンテーション) 0325	新入生及び編入学生に対してオリエンテーションを実施し、教務関係および学生関係等について説明している。令和7年度当初行事予定表を資料として示しており、本科2～5年生に実施する新学年ホームルームがガイダンスに相当する。		

<input checked="" type="checkbox"/> 留学生	資料5-5-1-(4)-02_編入学生への支援	編入学生に対して、事前課題等の案内を送付し、入学後の学習にスムーズに接続できるよう学習支援している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 障害のある学生	資料5-5-1-(4)-03_留学生へのガイダンス	新入留学生に対してオリエンテーションを実施し、教務関係および学生関係等について説明している。令和7年度に実施した留学生に対するガイダンス資料を示している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 社会人学生	資料5-5-1-(4)-04_Webサイトにおける障害者支援の周知について	本校Webサイトにおいて特別な支援を要する者への支援内容について周知している。	
<input type="checkbox"/> その他	資料5-5-1-(4)-05_新入生への入学前相談について	【2】入学前健康調査の末尾において、本科新入生に対し、入学前の特別な支援に関する相談について案内し、実施している。	
	◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。	編入学生として受け入れ可能となっているが、現在までに受入実績はない。受け入れ時には、編入学生と同様な支援体制となっている。	

**観点5-5-② 学生のニーズに応えるための学習相談の体制が整備され、助言、支援が行われていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生の自主的学習を進める上で、どのような相談・助言体制が整備されているか。(複数チェック可)	◇チェックした項目の整備状況が確認できる資料(関係規程、学生便覧、学生への周知・案内文、その他整備した体制が確認できる資料等)		
<input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の整備	資料3-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員組織規則	教員組織規則 第15条に担任制整備に関して定められている。	再掲
<input type="checkbox"/> オフィスアワーの整備			
<input checked="" type="checkbox"/> 対面型の相談受付体制の整備	資料5-5-2-(1)-01_学生支援ミーティング	担任はクラスの全学生に対して年2回以上学生支援ミーティングを実施し、学修状況や生活状況の確認および学生からの要望・意見の聞き取りや相談を受けるなど学生支援にも活用している。	
<input type="checkbox"/> 電子メールによる相談受付体制の整備			
<input checked="" type="checkbox"/> ICTを活用した成績確認や学習相談等に関するシステムの整備	資料5-5-2-(1)-02_教務システムによる成績確認	学生はWeb上の教務システムにアクセスし、単位取得状況等の成績情報を確認できる。教務システムでの情報閲覧画面の一例を資料として示している。	
	資料5-5-2-(1)-03_manabaの活用	学生は学習管理システム(manaba)により、課題の取得・提出やポートフォリオが管理できる。manabaでの情報閲覧画面の一例を資料として示している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 資格試験・検定試験等の支援体制の整備	資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)	「高専生活のてびき」のp.28-34に資格取得による単位認定および教育課程修了後の資格について説明している。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 外国への留学に関する支援体制の整備	資料3-2-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校グローバル推進室規則	海外派遣のための情報提供、事前教育、渡航指導に関する業務を行う組織としてグローバル推進室を設置している。	再掲
<input type="checkbox"/> その他	◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		
(2) 学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。(複数チェック可)	◇チェックした項目の制度内容が確認できる資料(関係規程、学生便覧、学生への周知・案内文、その他制度が確認できる資料等)		
<input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の導入	資料3-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員組織規則	教員組織規則 第15条に担任制整備に関して定められている。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 学生との懇談会	資料5-5-2-(1)-01_学生支援ミーティング	担任はクラスの全学生に対して年2回以上学生支援ミーティングを実施し、学修状況や生活状況の確認および学生からの要望・意見の聞き取りや相談を受けるなど学生支援にも活用している。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 意見投書箱	資料5-5-2-(2)-01_【意見箱】全学生周知manaba	学生昇降口及び図書館棟1階に投書箱と意見箱用紙を設置し、全学生に周知している。manabaで全学生に周知した案内文を資料として示している。	
	資料5-5-2-(2)-02_阿南工業高等専門学校意見箱取扱要項	意見箱取り扱い要項を資料として示している。現在、専用フォームは脆弱性対応のため、一時停止し、問い合わせメールcontact@anan-nct.ac.jpを公開し、対応している。	
	資料5-5-2-(2)-03_【意見箱】意見等対応用紙(毎月とりまとめ)	投稿に対する回答を月ごとにまとめた意見等対応用紙の一例を資料として示している。	
<input type="checkbox"/> その他	◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		

観点5-5-③ 正規学生に海外で学習する機会が提供され、有効に活用されているか【より望ましい取組として分析】			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)提供された機会を利用して学生が海外で学習しているか。【より望ましい取組として分析】	◇支援体制が確認できる資料(関係規程、利用実績等)		
◎ 利用して学習している      ○ 利用して学習していない	資料3-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員組織規則	教員組織規則第20条においてグローバル推進室を設置している。	再掲
	資料3-2-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校グローバル推進室規則	グローバル推進室規則第3条第4項において、学生の海外派遣のための情報提供、事前教育、渡航指導に関する業務を行うと定められている。	再掲
	資料5-5-3-(1)-01_海外インターンシップ実績	令和5年度・令和6年度の海外インターンシップ等実績を示している。	
<b>5-5 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			
<b>基準</b>			
<b>5-6 CPIに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること</b>			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
◎ 満たしている      ○ 満たしていない			
<b>観点5-6-① DP及びCPIに基づき定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、成績評価基準が組織として策定されていること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)成績評価や単位認定に関する基準が、CPIに基づき策定されていること。	◇成績評価や単位認定に関する規程等		
◎ 策定されている      ○ 策定されていない	資料5-6-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則	阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則 第3章に成績評価および単位認定について定めている。	
	資料5-6-1-(1)-02_教務委員会申し合わせ	教務委員会申し合わせ p.2～p.4に成績評価および単位認定について記載している。	
(2)成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等が行われていること。	◇成績評価の組織内でのチェック等、成績評価が適切に実施されていることが確認できる資料(関係規程、成績判定会議に関する資料等)		
◎ 行われている      ○ 行われていない	資料5-6-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則	阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則 第3章に成績評価および単位認定について定めている。	再掲
	資料5-6-1-(1)-02_教務委員会申し合わせ	教務委員会申し合わせ p.2～p.4に成績評価および単位認定について記載している。	再掲

阿南工業高等専門学校

	資料5-6-1-(2)-01_令和6年度教務委員会議事概要（第6回・第16回）	教務委員会における成績評価チェックに関する資料として、第6回教務委員会議題6ならびに第16回教務委員会議題1を示している。	
	資料5-6-1-(2)-02_進級及び卒業の認定に関する申し合わせ	進級及び卒業の認定に関する申し合わせの「1.進級の認定について」に進級認定の条件を記載している。	
	資料5-6-1-(2)-03_令和6年度進級判定会議資料	令和6年度進級判定会議を実施した際に用いた資料を示している。	
(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目(学修単位科目)を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバスの記載どおりに行われていることを学校として把握していること。 <input checked="" type="radio"/> 把握している <input type="radio"/> 把握していない	◇学修単位科目の授業時間外学修を把握する体制、手法、手順等に関する資料(会議資料等)		
	資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則	学則第13条第3項に学修単位科目の授業外学修時間を規定している。	再掲
	資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)	高専生活のてびきp.95に学修単位に関する記載を行っている。	再掲
	資料5-6-1-(3)-01_制御工学2 シラバス(作成例・学修単位)	学修単位科目のシラバスには、自学自習時間数および自学自習として課す学習内容に関する記載を行い、総自学自習時間数を記載した成績集計表等を成績保管資料として保管することになっている。保管資料等を質保証に関する実施要項に基づき第三者がチェックし、シラバス記載通りの評価が行われていることを確認している。	
	資料5-6-1-(3)-02_Webシラバスへの入力実施手順	シラバスへの授業外学修時間に関する記載に関してWebシラバスへの入力実施手順に記載している。	
	資料5-6-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則	阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則第9条の2に学修単位の講義及び演習時間について定めている。	再掲
<b>観点5-6-② 成績評価認定基準が学生に周知されていること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が学生に周知されていること。 <input checked="" type="radio"/> 周知されている <input type="radio"/> 周知されていない	◇周知を図る取組の内容が確認できる資料(学生便覧、ウェブサイトでの明示等)		
	資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)	冊子「高専生活のてびき」(学生便覧に相当)のp.168に学業成績評価に関する規則を掲載し、学生へ周知している。	再掲
	資料3-1-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校規則集Webサイト	本校Webサイトに阿南工業高等専門学校規則集を掲載し学生などに公開している。	再掲
(2) 追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法が定められていること。 <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法を定めた規程等		
	資料5-6-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則	阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則 第2章に追試験について、第6章に単位追認試験について定めている。本科においては、再試験は実施していない。	再掲
<b>観点5-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定の客観性、厳格性を担保するため、学校として組織的な措置が行われていること。(すべての項目にチェック必須)	◇学校として組織的に取り組まれている内容が確認できる資料(左記に示す事項について、どのようにチェックするかが記された規程等)		
<input checked="" type="checkbox"/> 答案の返却	資料5-6-3-(1)-01_令和6年度答案返却時間割	定期試験ごとに答案返却期間を設けている。資料として、令和6年度前期末試験における答案返却時間割を示している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 模範解答や採点基準の提示	資料1-3-1-(1)-11_質保証確認・集計表	質保証確認・集計表に基づき、試験問題・答案等の成績保管資料に対して教員相互チェックを行い、自己点検評価委員会において模範解答や採点基準が提示されている事を確認し必要に応じて改善指導を行っている。	再掲

<input checked="" type="checkbox"/> 同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック	資料1-3-1-(1)-11_質保証確認・集計表	質保証確認・集計表に基づき、試験問題等の成績保管資料に対して教員相互チェックを行い、自己点検評価委員会において同一問題が繰り返されていない事を確認し必要に応じて改善指導を行っている。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価の妥当性の事後チェック（シラバス通りに成績評価が行われていることの確認）	資料1-3-1-(1)-11_質保証確認・集計表	質保証確認・集計表に基づき、試験問題・答案、自学自習を含む課題等の成績保管資料に対して教員相互チェックを行い、自己点検評価委員会においてシラバス通りの成績評価である事を確認し必要に応じて改善指導を行っている。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 試験問題のレベルが適切であることのチェック	資料5-6-1-(2)-01_令和6年度教務委員会議事概要（第6回・第16回）	教務委員会における成績評価チェックに関する資料として、第6回教務委員会議題6ならびに第16回教務委員会議題1を示している。	再掲
	資料5-6-3-(1)-02_R5年度学年総合成績評点分布	試験問題等のレベルが適切であるかどうか検証するため、令和5年度の全科目の評点分布をIR戦略室が作成し、校長等に報告している。	
	◇同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料（関係の会議資料、議事録、（あれば）是正措置が行われたことを確認できる資料）		
	資料5-6-3-(1)-03_令和6年度第4回教務委員会議事概要	第4回教務委員会報告4において、試験問題の使いまわしについて注意喚起している。	

**観点5-6-④ 成績に対する異議申立て制度が組織的に設けられていること**

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック◎）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価結果に関する学生からの意見申立ての機会が規程等により定められていること。 <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇学生からの意見申立てについて定めた規程等		
	資料5-6-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則	学業成績評価に関する規則第7条の2において、学生は成績評価及び出欠について疑義がある場合、科目担当教員に申し出ることができる旨定められている。	再掲
	資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき（令和7年度）	冊子「高専生活のてびき」（学生便覧に相当）のp.168に成績評価への意見申立てに関する事項を掲載し、学生へ周知している。	再掲

**5-6 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし
------

**基準**  
**5-7 学校の目的及びDPIに基づき、公正な卒業判定が実施されていること**

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック◎） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない
--

**観点5-7-① 卒業認定基準をDPIに従って、組織として策定していること**

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック◎）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
--------------------------	-------------------	----	----

(1) 学校が定める卒業要件が組織的に策定され、設置基準が定める要件と整合していること。 <input checked="" type="radio"/> 整合している <input type="radio"/> 整合していない	◇卒業要件が組織的に策定されていることが確認できる資料(学則、卒業認定基準等)		
	資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則	学則第27条において卒業に関して定めている。	再掲
	資料5-6-1-(1)-01_阿南工業高等専門学校学業成績評価に関する規則	学業成績評価に関する規則第15条において卒業要件を定めている。	再掲
	資料5-3-1-(3)-01_阿南工業高等専門学校進級及び卒業の認定に関する規則	進級及び卒業の認定に関する規則第3条において卒業要件を定めている。	再掲

**観点5-7-② 策定された卒業要件が学生に周知されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 卒業認定基準が学生に周知されていること。 <input checked="" type="radio"/> 周知されている <input type="radio"/> 周知されていない	◇周知した資料(学生便覧、ウェブサイトでの明示等)		
	資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき (令和7年度)	冊子「高専生活のてびき」(学生便覧に相当)のP.98、P.169、P.171、に卒業認定基準、進級及び卒業の認定に関する規則を掲載し、学生へ周知している。	再掲
	資料3-1-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校規則集Webサイト	本校Webサイトに阿南工業高等専門学校規則集を掲載し、学生に周知している。	再掲

**観点5-7-③ 卒業の認定が、卒業認定基準に基づき組織的に実施されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 卒業認定基準に基づき、組織として卒業認定していること。 <input checked="" type="radio"/> している <input type="radio"/> していない	◇卒業判定時に使用する様式等		
	資料5-7-3-(1)-01_令和6年度卒業判定会議資料	令和6年度卒業判定会議に用いた資料を示している。	
	資料5-6-1-(2)-02_進級及び卒業の認定に関する申し合わせ	進級及び卒業の認定に関する申し合わせの「2.卒業の認定について」に卒業認定の条件を記載している。	再掲

**5-7 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし			

**基準**

**5-8 学校の目的及びDPIに基づき、適切な学習成果が得られていること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない
--

観点5-8-① DPIに沿った学習・教育の成果を確認するための体制が整備されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制が整備されていること。 <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)		
	資料1-2-4-(1)-09_阿南工業高等専門学校卒業時アンケート実施要項	本科を卒業する学生に対して、卒業時に身に付ける学力、資質・能力についてアンケート調査を行っている。卒業時アンケート実施要項 第4条に実施体制を定めている。	再掲
	資料1-2-4-(1)-11_阿南工業高等専門学校卒業生・修了生アンケート実施要項	卒業生および修了生に対して、目指す技術者像、学習・教育目標の設定が適切であったか調査している。卒業生・修了生アンケート実施要項第4条に実施体制を定めている。	再掲
	資料1-2-4-(1)-14_阿南工業高等専門学校企業アンケート実施要項	卒業生・修了生の就職先企業に対して、目指す技術者像、学習・教育目標の設定が適切であったか調査している。企業アンケート実施要項第4条に実施体制を定めている。	再掲
観点5-8-② 卒業時の学生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(卒業時アンケート、アンケート結果、会議資料等)		
	資料1-2-4-(2)-01_R5年度卒業時アンケート結果	令和5年度の卒業時アンケートの集計結果を示している。	再掲
	資料5-8-2-(1)-01_令和6年度第10回教務委員会議事概要	第10回教務委員会報告4にて、卒業時アンケートの結果について報告し、委員に意見を聞くとともに、各コースでも結果を共有し、教育改善を図るよう依頼した。	
	資料1-2-4-(1)-09_阿南工業高等専門学校卒業時アンケート実施要項	卒業時アンケート実施要項に基づき、本校卒業予定者に対するアンケートを実施し、その結果を教務委員会で報告・評価し、各コースでの教育改善に繋げる体制となっている。	再掲
観点5-8-③ 卒業後一定期間の就業経験等を経た卒業生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生(卒業後5年程度たった者)に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(卒業生アンケート、アンケート結果、会議資料等)		
	資料1-2-4-(2)-08_卒業生・修了生アンケート集計結果	令和6年度の卒業生・修了生アンケートの集計結果を示している。	再掲
	資料5-8-3-(1)-01_令和7年度第3回教務委員会議事概要	第3回教務委員会報告7にて、卒業生・修了生アンケートの結果について報告し、委員に意見を聞くとともに、各コースでも結果を共有し、教育改善を図るよう依頼した。	
	資料1-2-4-(1)-11_阿南工業高等専門学校卒業生・修了生アンケート実施要項	卒業生および修了生に対して、目指す技術者像、学習・教育目標の設定が適切であったか調査している。卒業生・修了生アンケート実施要項第4条に実施体制を定めている。	再掲
観点5-8-④ 就職先等からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生の就職・進学先関係者に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(就職・進学先アンケート、アンケート結果、会議資料等)		
	資料1-2-4-(2)-10_企業アンケート集計結果	令和6年度の企業アンケートの集計結果を示している。	再掲

資料5-8-3-(1)-01_令和7年度第3回教務委員会議事概要	第3回教務委員会報告6にて、企業アンケートの結果について報告し、委員に意見を聞くとともに、各コースでも結果を共有し、教育改善を図るよう依頼した。	再掲
資料1-2-4-(1)-14_阿南工業高等専門学校企業アンケート実施要項	卒業生・修了生の就職先企業に対して、目指す技術者像、学習・教育目標の設定が適切であったか調査している。企業アンケート実施要項第4条に実施体制を定めている。	再掲

**5-8 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし			
------	--	--	--

**基準**  
**5-9 APが具体的かつ明確であること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)  
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。  
◎ 満たしている      ○ 満たしていない

**観点5-9-① APが学校の目的を踏まえて明確に定められていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)関係法令及びガイドラインを踏まえ、APが定められていること。 ◎ 定められている      ○ 定められていない	◇準学士課程のAP 資料5-9-1-(1)-01_本科アドミッション・ポリシー	ガイドラインに沿って本科学士の受け入れに関する基本方針をAPに定めている。	
(2)APが、学校や学科の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)、DP、CPを踏まえて策定されていること。 ◎ 策定されている      ○ 策定されていない	◇準学士課程のAP 資料5-9-1-(1)-01_本科アドミッション・ポリシー	本科APは学校の目的、DPおよびCPを踏まえて定めている。	再掲
(3)APが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須) <input checked="" type="checkbox"/> 入学者選抜の基本方針 <input checked="" type="checkbox"/> 求める学生像(受け入れる学生に求める学習成果を含む。)	◇準学士課程のAP 資料5-9-1-(1)-01_本科アドミッション・ポリシー	本科APにおいて「1. 求める人物像」および「2. 入学者選抜の基本方針」を示している。	再掲

阿南工業高等専門学校			
5-9 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			
<p><b>基準</b> 5-10 学生の受入れが適切に実施されていること</p> <p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 満たしている      <input type="radio"/> 満たしていない</p>			
<b>観点5-10-① APIに沿って適切な受入方法が採用されており、実施体制により公正に実施されていること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) AP、特に入学選抜の基本方針に沿った入学選抜方法(学生募集の方針、選抜区分(学力選抜、推薦選抜等。)、面接内容、配点・出題方針その他)となっていること。  <input checked="" type="radio"/> なっている <input type="radio"/> なっていない	◇選抜区分ごとの入学選抜募集要項、面接要領、合否判定基準、合否判定様式、入学試験実施状況等が確認できる資料(議事要旨等)		
	資料5-10-1-(1)-01_R7年度本科学生募集要項入学案内	学生募集要項・入学案内において、本科のアドミッション・ポリシー(p.1)、選抜方法(p.2)、面接内容等(推薦による選抜p.7、帰国生徒特別選抜p.14)を記載している。	
	資料5-10-1-(1)-02_R7年度合否判定基準(本科推薦・学力・編入学・帰国生徒)	本科入学選抜における合否判定基準(本科推薦・学力・編入学・帰国生徒)を示している。マル秘資料	
	資料5-10-1-(1)-03_R7年度面接ルーブリック(本科推薦)	R7年度本科推薦選抜検査における面接ルーブリック(本科推薦)を示している。マル秘資料	
	資料5-10-1-(1)-04_R7年度推薦選抜検査実施要項	R7年度推薦選抜検査実施要項を示している。マル秘資料	
	資料5-10-1-(1)-05_R7年度学力選抜実施要項	R7年度学力選抜実施要項を示している。マル秘資料	
	資料5-10-1-(1)-06_R7年度編入学試験実施要項	R7年度編入学試験実施要項を示している。マル秘資料	
	資料5-10-1-(1)-07_R7年度推薦選抜合否判定資料	R7年度推薦選抜合否判定資料を示している。マル秘資料	
	資料5-10-1-(1)-08_R7年度学力選抜合格判定資料	R7年度学力選抜合格判定資料を示している。マル秘資料	
	資料5-10-1-(1)-09_R7年度学力選抜検査採点業務要領	R7年度学力選抜検査採点業務要領を示している。マル秘資料	
	資料5-10-1-(1)-10_R7年度学力選抜検査担当別要項	R7年度学力選抜検査担当別要項を示している。マル秘資料	
資料5-10-1-(1)-11_R7年度編入学選抜募集要項	R7年度編入学選抜募集要項を示している。		
<b>観点5-10-② APIに沿った学生の受入れが実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果が入学選抜の改善に役立てられていること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制が整備されていること。	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)		

<input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	資料1-1-1-(2)-03_阿南工業高等専門学校教務委員会規則	教務委員会規則第2条(4)および(8)に定める通り、APIに沿った学生の受け入れが行われているかどうか等の入学選抜に関する検証および改善を教務委員会を実施する体制となっている。	再掲
(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、APIに沿っているかどうかの検証が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇検証した資料(会議資料等)  資料5-8-3-(1)-01_令和7年度第3回教務委員会議事概要	APIに沿った学生を受け入れているかどうかの検証資料の作成をIR戦略室に依頼し、令和7年度第3回教務委員会報告5でIR戦略室長の意見とともに各コース主任等に報告し、各コースでの情報共有を依頼した。	再掲
(3) (2)の検証の結果が入学選抜の改善に役立てられていること。  <input checked="" type="radio"/> 役立てられている <input type="radio"/> 役立てられていない	◆検証の結果に基づいた具体的な改善の実施状況を踏まえて、検証の結果が改善に役立てられている状況について、資料を基に記述する。  資料5-10-2-(3)-01_令和3年度第2回教務委員議事要旨	令和4年度実施の推薦選抜検査の定員変更に際して、教務委員会で調査書採点方式について審議し、APIに沿った学生の受け入れを念頭に調査書の傾斜配点等を見直した。資料として、令和3年度第2回教務委員会議事要旨を示している。	

**5-10 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし

**基準**  
**5-11 実入学者数が入学定員※に対して適正な数となっていること ※収容定員を5で除した数**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)  
 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。  
 満たしている       満たしていない

**観点5-11-① 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 収容定員が学科ごとに学則で定められていること。また、1学級当たり40人が標準とされていること。  <input checked="" type="radio"/> 定められている・標準とされている <input type="radio"/> 定められていない・標準とされていない	◇学則の該当箇所  資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則	学則第7条の1で本科の学級数4、入学定員160人、収容定員800人と定めている。	再掲


(2) 学科ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制が整備されていること。  ● 整備されている      ○ 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)		
	資料1-1-1-(2)-03_阿南工業高等専門学校教務委員会規則	本科の入学者選抜に関する事項については教務委員会で審議する体制になっている。	再掲
	資料5-11-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校IR戦略室規則	入学検査に係る包括的な調査・分析・評価に関する業務はIR戦略室で行う体制になっている。	
(3) 過去5年間の学科ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であること。  ● 適正である      ○ 適正でない	◇【様式2-2】平均入学定員充足率計算表	最近5年間の入学定員に対する実入学者数の平均比率は1.00で、適切である。	
(4) 過去5年間で、学科ごとの実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っていること。  ○ 行っている      ● 行っていない	◆大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合には、該当する学科について、実入学者数の改善に資する取組や教育環境等の改善により教育等に支障が生じないように取った対応等、実際に行った事例が確認できる資料を基に記述する。		
		最近5年間の入学定員に対する実入学者数の平均比率は1.00であり、大幅に超過、又は大幅に不足している状況にはなっていない。	

**5-11 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし			

**領域5**

**優れた点**

就職希望学生に対する就職率は非常に高く、ほぼ100%である。機械製造、電気・ガスなどのエネルギー関係、情報通信・情報技術関係、建設業・交通インフラ関係、化学・製薬関係など多種多様な企業から求人があり、学生1人当たりの求人率は5倍を超えている。進学希望学生に対する進学率も非常に高く、所属コースの専門分野に関連した工学系の大学や専攻科に進んでいる。			
	資料5-優01_R6年度卒業生・修了生(就職・進学状況)		

**改善を要する点**

該当なし			

領域6 専攻科課程の教育活動の状況

基準 6-1 DPが具体的かつ明確であること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点6-1-① DPが、学校の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 関係法令及びガイドラインを踏まえ、DPが定められていること。 <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇専攻科課程のDP		
	資料6-1-1-(1)-01_専攻科ディプロマ・ポリシー	ガイドラインに沿って専攻科修了を認定する方針をディプロマ・ポリシーに定めている。	
(2) DPが、「何ができるようになるか」に力点を置いたものであり、かつ専攻科課程全体、各専攻の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)と整合性を有していること。 <input checked="" type="radio"/> 整合性を有している <input type="radio"/> 整合性を有していない	◇専攻科課程のDP		
	資料2-1-2-(1)-01_学習・教育到達目標-DP-CP対応表(専攻科)	「何ができるようになるか」に力点を置き、修了までに身につける普遍的な能力および専門的な能力を定めている。これは専攻科の目的(自己点検評価書ⅡP5)と整合している。	再掲
(3)DPが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須) <input checked="" type="checkbox"/> 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力を示している <input checked="" type="checkbox"/> 養成しようとする人材像の内容を示している	◇専攻科課程のDP		
	資料6-1-1-(1)-01_専攻科ディプロマ・ポリシー	専攻科ディプロマ・ポリシーの「1. 目指す技術者像」で養成しようとする人材像を示している。「2. 身につける能力」で学生が修了時に身に付ける資質・能力を示している。	再掲
	資料6-1-1-(1)-01_専攻科ディプロマ・ポリシー	専攻科DPには、専攻科が育成しようとする技術者像の内容を示しており、(1)~(4)には各コースの核となる専門知識・技術をあわせて示している。	再掲
6-1 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			
基準 6-2 GPが具体的かつ明確であり、DPと整合していること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

- 満たしている       満たしていない

**観点6-2-1-① GPIにおいて、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)CPが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須)	◇専攻科課程のCP		
<input checked="" type="checkbox"/> どのような教育課程を編成するかを示している	資料6-2-1-(1)-01_専攻科カリキュラム・ポリシー	専攻科に対するカリキュラム・ポリシーを策定し、「1 専攻科課程の教育課程編成の基本方針」の(A)～(E)に専攻科のカリキュラムの編成方針について、(1)～(4)に各コースの核となる専門的知識と技術を養成するための教育内容・方法について、「2. 学修成果の評価方針」に学習成果の評価について、それぞれ示している。	
<input checked="" type="checkbox"/> どのような教育内容・方法を実施するかを示している			
<input checked="" type="checkbox"/> 学習成果をどのように評価するかを示している			

**観点6-2-2-② CPがDPと整合性を有していること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) ガイドライン等を踏まえ、CPが定められていること。	◇専攻科課程のCP		
<input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	資料2-1-2-(1)-01_学習・教育到達目標-DP-CP対応表(専攻科)	ガイドラインに沿って専攻科の教育課程を編成する方針をカリキュラム・ポリシーに定めている。	再掲
(2) CPが、DPとの整合性を有していること。	◇専攻科課程のCP及びDP		
<input checked="" type="radio"/> 整合性を有している <input type="radio"/> 整合性を有していない	資料2-1-2-(1)-01_学習・教育到達目標-DP-CP対応表(専攻科)	専攻科学習・教育到達目標・DP・CP対応表にディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの整合関係を有している。	再掲

**6-2 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし

**基準**

**6-3 教育課程がCPに基づき体系的に編成され、授業科目の内容がDPに基づき設定されていること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

- 満たしている       満たしていない

観点6-3-① 教育課程が体系的に編成されていること			
(根拠理由欄)			
本校は2022年度にJABEE認定審査を受けている。2021年4月1日から2027年3月31日までの6年間認定された。本観点に対する評価はSである。			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) CPを踏まえて、適切な授業科目が体系的に配置されていること。  ○ 配置されている      ◎ 配置されていない	◇授業科目の配置状況が確認できる資料(カリキュラムマップ、コース・ツリー、学生便覧等)		
観点6-3-② 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっていること			
(根拠理由欄)			
本校は2022年度にJABEE認定審査を受けている。2021年4月1日から2027年3月31日までの6年間認定された。本観点に対する評価はSである。			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 専攻科の教育課程が、準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮していること。  ○ 考慮している      ◎ 考慮していない	◇連携及び発展等の考慮状況が確認できる資料(科目系統図、連携状況を示す資料等)		
観点6-3-③ 創造力、実践力等を育む教育方法の工夫が図られているか【より望ましい取組として分析】			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 創造力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】  ◎ 工夫が行われている      ○ 工夫が行われていない	◇教育プログラムの一環として行われている、創造力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料(PBL型の授業や創造型の演習のシラバス、授業教材、受講者数等)		
	資料6-3-3-(1)-01_創造力を育む教育方法の実施状況 (創造工学演習)	創造力を育む教育として専攻科2年で実施している「創造工学演習」のシラバス。異なるコースの学生とチームを組み、議論を通じて作品に対する課題を発見・検討・解決していく。作品の具体化・試作を行い、プレゼンテーションする。	
	資料6-3-3-(1)-02_創造工学演習実施要項	学生は主体性と協働性を発揮しながらアイデア発案と議論を繰り返すことで、最終的に技術文書としてまとめ総合的な「ものづくり」の能力が養われている。	
	◆工夫を行った結果、学生が実践力を発揮し、あげた成果や効果があれば具体的に、資料を基に記述する。		
	資料6-3-3-(1)-03_創造力を育む教育の成果 (パテントコンテスト申請例)	「創造工学演習」において考案された作品・アイデアは文部科学省、特許庁等が主催しているパテントコンテストへ応募している。令和6年度のパテントコンテスト申請書類例。	
(2) 実践力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】  ◎ 工夫が行われている      ○ 工夫が行われていない	◇教育プログラムの一環として行われている、実践力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料(シラバス、授業教材、受講者数等)		
	資料6-3-3-(2)-01_実践力を育む教育方法の実施状況 (インターンシップ)	実践力を育む教育として専攻科1年で実施している「インターンシップ1」～「インターンシップ4」のシラバス。全学生が「インターンシップ1」～「インターンシップ4」のいずれかの単位を修得しなければならない。	

	◆工夫を行った結果、学生が実践力を発揮し、あげた成果や効果があれば具体的に、資料を基に記述する。		
	資料6-3-3-(2)-02_専攻科インターンシップ報告会予稿集	「インターンシップ1」～「インターンシップ4」に参加した学生は、その成果を報告書にまとめて提出する。また、報告会を開催し、成果のプレゼンテーションを行っている。報告会の開催について派遣先企業・大学等に案内し、派遣先担当者も聴講している。	
(3)その他教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】  ● 工夫が行われている      ○ 工夫が行われていない	◇教育プログラムの一環として行われている取組で、(1)(2)以外(例:学生の国際性涵養(かんよう)に向けた教育など)で教育方法の工夫を行っているものがあれば内容を示し、具体的な工夫が確認できる資料を提示する。(シラバス、授業教材、受講者数等)		
	資料6-3-3-(3)-01_複合領域ゼミナールのシラバス	企業および大学院の研究者に講師を依頼しており、最先端の科学技術に関する教育がなされている。	
	◆工夫を行った結果、学生が実践力を発揮し、あげた成果や効果があれば具体的に、資料を基に記述する。		
	資料6-3-3-(3)-02_複合領域ゼミナールのレポート	企業及び大学院での研究開発の話題に触れ、詳細なレポートを作成した。	
(4)(1)～(3)の学校としての取組の結果、優れた成果が上げられているか。【より望ましい取組として分析】  ● 上げられている      ○ 上げられていない	◇これらの取組実績により得られた、優れた成果が確認できる資料		
	資料6-3-3-(4)-01_学生の学外発表成果	専攻科修了要件として学協会での1回以上の発表を必要としている。学外発表エビデンスとして発表概要、プログラム等を担任に提出している。	
	資料6-3-3-(4)-02_阿南工業高等専門学校専攻科の学業成績評価に関する規則	専攻科の学業成績評価に関する規則第21条に修了要件を定めている。	

**6-3 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし			

**基準**  
**6-4 DP及びCPIに基づき、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。
● 満たしている      ○ 満たしていない

**観点6-4-① 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)1年間の授業を行う期間が、定期試験の期間を含め、35週確保されていること。 <input checked="" type="radio"/> 確保されている <input type="radio"/> 確保されていない	◇35週が確保されている状況が確認できる資料(行事予定表、時間割表等)  資料5-4-1-(1)-01_R7授業関係予定表	授業日(前期15週、後期15週)、期末試験日および答案返却日、行事日等で35週を確保している。	再掲
<b>観点6-4-② 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること</b>			
(根拠理由欄)			
本校は2022年度にJABEE認定審査を受けている。2021年4月1日から2027年3月31日までの6年間認定された。本観点に対する評価はSである。			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) CPIに照らして、講義、演習、実験、実習の適切な授業形態が採用されていること。 <input type="radio"/> 採用されている <input checked="" type="radio"/> 採用されていない	◇授業形態の開講状況(専攻別の授業形態の構成割合等)が確認できる資料		
(2) 教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。(複数チェック可) <input type="checkbox"/> 教材の工夫 <input type="checkbox"/> 少人数教育 <input type="checkbox"/> 対話・討論型授業 <input type="checkbox"/> フィールド型授業 <input type="checkbox"/> 情報機器の活用 <input type="checkbox"/> 基礎学力不足の学生に対する配慮 <input type="checkbox"/> その他	◇チェックした項目の実施体制が確認できる資料(シラバス、事例を示す資料等)  ◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		
(3) CPを踏まえて、シラバスの作成要領の要領を示す文書において記載すべき項目が明確に規定され、それに基づきシラバスが適切に作成されていること。 <input type="radio"/> 作成されている <input checked="" type="radio"/> 作成されていない	◇シラバスの作成要領や具体例等が確認できる資料		
(4) 組織的に、最新のシラバスが漏れなく提示されているかの確認及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っていること。 <input type="radio"/> 行っている <input checked="" type="radio"/> 行っていない	◇組織的な確認の体制が確認できる資料		

	◇活用状況を把握する体制が確認できる資料		
	◇改善を行った事例がある場合は、改善事例の具体的内容が確認できる資料		
(5)授業科目ごとのシラバス、あるいはシラバス集、履修要項等に、1単位の履修時間は授業時間以外の学修等を合わせて45時間であることを明示していること。その際、学則に定める授業形態ごとの単位時間数に応じた授業時間以外の学習が設定されていること。  ○ 明示・設定されている      ● 明示・設定されていない	◇学則(授業形態ごとの授業時間に関する定め)		
	◇明示状況が確認できる資料(シラバス、履修要項、学生便覧等)		

**観点6-4-③ CPIに基づき、教養教育や研究指導が適切に行われていること**

(根拠理由欄)  
 本校は2022年度にJABEE認定審査を受けている。2021年4月1日から2027年3月31日までの6年間認定された。本観点に対する評価はSである。

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生への教養教育や研究指導が、適切に行われていること。  ○ 行われている      ● 行われていない	◇教養教育や研究指導の実施状況が確認できる資料   ◇特別研究の指導の枠組み及び指導状況と内容を示す資料(指導教員・副指導教員の指導状況、技術職員の研究のサポート状況等)		

**6-4 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし			

**基準**  
**6-5 適切な履修指導、支援が行われていること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)  
 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。  
 ● 満たしている      ○ 満たしていない

**観点6-5-① 学生のニーズに応えるための履修指導の体制が組織として整備され、指導、助言が行われていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
<p>(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における具体的な配慮としてどのようなことを行っているか。(複数チェック可)</p> <p><input type="checkbox"/> 他専攻の授業科目の履修を認定</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> インターンシップによる単位認定</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 準学士課程教育との連携</p> <p><input type="checkbox"/> 資格取得に関する教育</p> <p><input type="checkbox"/> 他の高等教育機関との単位互換制度</p> <p><input type="checkbox"/> 個別の授業科目内での工夫</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 最先端の技術に関する教育</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇チェックした各項目の実施状況が確認できる資料(関係規程、教育課程表、シラバス、実績等)</p> <p>資料6-5-1-(1)-01_専攻科インターンシップの手引き</p> <p>資料6-3-3-(2)-01_実践力を育む教育方法の実施状況(インターンシップ)</p> <p>資料5-5-1-(1)-02_「創造技術システム工学」教育プログラムおよび「特例適用専攻科」科目履修のてびき</p> <p>資料6-3-3-(3)-01_複合領域ゼミナールのシラバス</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。</p>	<p>専攻科1年におけるインターンシップに関する説明をまとめた手引き。前期末頃に学生に配付するとともに説明し、提出書類等について確認している。</p> <p>インターンシップ単位認定がわかる資料としてシラバスを示す。学習単位科目として事前準備及び報告準備の期間を自学自習時間として考慮しており、5日間の実習で1単位を付与している。</p> <p>「創造技術システム工学」教育プログラムおよび「特例適用専攻科」科目履修のてびきにおいてJABEE修了要件として、準学士課程教育との関係を説明している。</p> <p>企業および大学院の研究者に講師を依頼しており、最先端の科学技術に関する教育がなされている。</p>	<p></p> <p></p> <p>再掲</p> <p>再掲</p> <p></p> <p></p> <p>再掲</p> <p></p> <p></p> <p></p>
<p>(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っていること。</p> <p><input type="radio"/> 取り扱っている      <input checked="" type="radio"/> 取り扱っていない</p>	<p>◇単位互換制度の内容が確認できる資料(関係規程等)</p>		
<p>(3) 教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 実施されている      <input type="radio"/> 実施されていない</p>	<p>◇ガイダンス実施要項等</p> <p>資料5-5-1-(1)-02_「創造技術システム工学」教育プログラムおよび「特例適用専攻科」科目履修のてびき</p> <p>資料5-5-1-(4)-01_R7_当初行事予定表(始業式およびオリエンテーション) 0325</p>	<p>「創造技術システム工学」教育プログラムおよび「特例適用専攻科」科目履修のてびきを用いて専攻科修了要件・JABEE修了要件および学位申請について説明している。</p> <p>年度初めにホームルームを開催し、専攻科1年生にはこれからの学生生活について、専攻科2年生には学位申請のスケジュール等について説明している。</p>	<p></p> <p>再掲</p> <p>再掲</p> <p></p> <p></p>
<p>(4) 特別な支援が必要と考えられる学生に対し、教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか(複数チェック可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 留学生</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 障害のある学生</p> <p><input type="checkbox"/> 社会人学生</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料(実施日程表、実施要項)</p> <p>◆学科生と合同実施の場合は、その説明を記述する。</p> <p>◆受入実績がない場合は、その旨の説明と、受け入れた場合の対応方針を記述する。</p> <p>資料5-5-1-(4)-03_留学生へのガイダンス</p> <p>資料5-5-1-(4)-04_Webサイトにおける障害者支援の周知について</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。</p>	<p>留学生の受け入れ実績については本校本科からの進学者のみ。</p> <p>障害のある学生の受け入れ実績は、現在までのところない。</p>	<p></p> <p>再掲</p> <p>再掲</p> <p></p> <p></p>
<p><b>観点6-5-② 学生のニーズに応えるための学習相談の体制が整備され、助言、支援が行われていること</b></p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>	<p>備考</p>	<p>再掲</p>

<p>(1) 学生の自主的学習を進める上で、どのような相談・助言体制が整備されているか。(複数チェック可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の整備</p> <p><input type="checkbox"/> オフィスアワーの整備</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対面型の相談受付体制の整備</p> <p><input type="checkbox"/> 電子メールによる相談受付体制の整備</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> I C Tを活用した成績確認や学習相談等に関するシステムの整備</p> <p><input type="checkbox"/> 資格試験・検定試験等の支援体制の整備</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 外国への留学に関する支援体制の整備</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇チェックした項目の整備状況が確認できる資料(関係規程、学生便覧、学生への周知・案内文、その他整備した体制が確認できる資料等)</p> <p>資料6-5-2-(1)-01_担任指導記録</p> <p>資料3-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員組織規則</p> <p>資料6-5-2-(1)-02_学習支援ミーティング</p> <p>資料6-5-2-(1)-03_教務システムによる成績確認</p> <p>資料6-5-2-(1)-04_manabaの活用</p> <p>資料3-2-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校グローバル推進室規則</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。</p>	<p>担任は月ごとの担任指導記録を専攻科長に提出している。</p> <p>教員組織規則第14条に担任についての記載がある。</p> <p>担任はクラスの全学生に対して年2回以上学習支援ミーティングを実施し、修了要件の達成状況を確認している。就学支援のみにとどまらず、学生からの要望を聞き取る機会となっている。</p> <p>学生はWeb上の教務システムにアクセスし、単位取得状況等の成績を確認できる。</p> <p>学生は学習管理システム(manaba)により、課題の取得・提出やポートフォリオが管理できる。</p> <p>学生の海外派遣に関する事項はグローバル支援室が支援する体制となっている。</p>	<p></p> <p>再掲</p> <p></p> <p></p> <p>再掲</p> <p></p> <p></p>
<p>(2) 学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。(複数チェック可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の導入</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学生との懇談会</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 意見投書箱</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇チェックした項目の制度内容が確認できる資料(関係規程、学生便覧、学生への周知・案内文、その他制度が確認できる資料等)</p> <p>資料6-5-2-(1)-01_担任指導記録</p> <p>資料6-5-2-(1)-02_学習支援ミーティング</p> <p>資料5-5-2-(2)-01_【意見箱】全学生周知manaba</p> <p>資料5-5-2-(2)-02_阿南工業高等専門学校意見箱取扱要項</p> <p>資料5-5-2-(2)-03_【意見箱】意見等対応用紙(月毎とりまとめ)</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。</p>	<p>担任は月ごとの担任指導記録を専攻科長に提出している。</p> <p>担任はクラスの全学生に対して年2回以上が学習支援ミーティングを実施し、修了要件の達成状況を確認している。</p> <p>学生昇降口及び図書館棟1階に投書箱と意見箱用紙を設置し、全学生に周知している。</p> <p>現在、専用フォームは脆弱性対応のため、一時停止し、問い合わせメールcontact@anan-nct.ac.jpを公開し、対応している。</p>	<p>再掲</p> <p>再掲</p> <p>再掲</p> <p>再掲</p> <p>再掲</p>

**観点6-5-③ 正規学生に海外で学習する機会が提供され、有効に活用されているか【より望ましい取組として分析】**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
<p>(1) 提供された機会を利用して学生が海外で学習しているか。【より望ましい取組として分析】</p> <p><input checked="" type="radio"/> 利用して学習している      <input type="radio"/> 利用して学習していない</p>	<p>◇支援体制が確認できる資料(関係規程、利用実績等)</p> <p>資料6-5-3-(1)-01_海外インターンシップ実績</p> <p>資料3-2-2-(1)-01_阿南工業高等専門学校教員組織規則</p> <p>資料3-2-2-(1)-02_阿南工業高等専門学校グローバル推進室規則</p>	<p>専攻科生の最近2年間の海外インターンシップ等実績を示す。</p> <p>教員組織規則第20条においてグローバル推進室を設置している。</p> <p>グローバル推進室規則第3条第4項において、学生の海外派遣のための情報提供、事前教育、渡航指導に関する業務を行うと定められている。</p>	<p></p> <p>再掲</p> <p>再掲</p>

**6-5 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

<p>該当なし</p>	
-------------	--

基準			
6-6 CPIに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点6-6-① DP及びCPIに基づき定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、成績評価基準が組織として策定されていること			
(根拠理由欄)			
本校は2022年度にJABEE認定審査を受けている。2021年4月1日から2027年3月31日までの6年間認定された。本観点に対する評価はSである。			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が、CPIに基づき策定されていること。  <input type="radio"/> 策定されている <input checked="" type="radio"/> 策定されていない	◇成績評価や単位認定に関する規程等		
(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等が行われていること。  <input type="radio"/> 行われている <input checked="" type="radio"/> 行われていない	◇成績評価の組織内でのチェック等、成績評価が適切に実施されていることが確認できる資料(関係規程、成績判定会議に関する資料等)		
(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目(学修単位科目)を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバスの記載どおりに行われていることを学校として把握していること。  <input type="radio"/> 把握している <input checked="" type="radio"/> 把握していない	◇学修単位科目の授業時間外学修を把握する体制、手法、手順等に関する資料(会議資料等)		
観点6-6-② 成績評価認定基準が学生に周知されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が学生に周知されていること。  <input checked="" type="radio"/> 周知されている <input type="radio"/> 周知されていない	◇周知を図る取組の内容が確認できる資料(学生便覧、ウェブサイトでの明示等)  資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき(令和7年度)	「高専生活のてびき」(学生便覧に相当)に専攻科の学業成績評価に関する規則(P185-P187)を掲載し、学生へ周知している。	再掲
(2) 追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法が定められていること。  <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法を定めた規程等  資料6-3-3-(4)-02_阿南工業高等専門学校専攻科の学業成績評価に関する規則	専攻科の学業成績評価に関する規則第3章に追試験、再試験に関する事項を定めている。	再掲

--	--	--	--

**観点6-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定の客観性、厳格性を担保するため、学校として組織的な措置が行われていること。(すべての項目にチェック必須)	◇学校として組織的に取り組まれている内容が確認できる資料(左記に示す事項について、どのようにチェックするかが記された規程、前年度の確認結果が確認できる資料等)		
<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価の妥当性の事後チェック(シラバス通りに成績評価が行われていることの確認)	資料1-3-1-(1)-11_質保証確認・集計表	質保証確認集計表に基づき、試験問題・答案、自学自習を含む課題等の成績保管資料に対して教員相互チェックを行い、自己点検評価委員会においてシラバス通りの成績評価である事を確認し必要に応じて改善指導を行っている。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 答案の返却	資料5-6-3-(1)-01_令和6年度答案返却時間割	定期試験の答案返却期間を設けている。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 模範解答や採点基準の提示	資料1-3-1-(1)-11_質保証確認・集計表	質保証確認集計表に基づき、試験問題・答案等の成績保管資料に対して教員相互チェックを行い、自己点検評価委員会において模範解答や採点基準が提示されている事を確認し必要に応じて改善指導を行っている。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック	資料1-3-1-(1)-11_質保証確認・集計表	質保証確認集計表に基づき、試験問題等の成績保管資料に対して教員相互チェックを行い、自己点検評価委員会において同一問題が繰り返されていない事を確認し必要に応じて改善指導を行っている。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 試験問題のレベルが適切であることのチェック	資料1-3-1-(1)-11_質保証確認・集計表	質保証確認集計表に基づき、試験問題・答案、自学自習を含む課題等の成績保管資料に対して教員相互チェックを行い、自己点検評価委員会においてシラバス通りの成績評価である事を確認し必要に応じて改善指導を行っている。	再掲
	◇同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料)		
	資料1-3-1-(1)-11_質保証確認・集計表	定期試験の質について、試験問題・答案、課題等の保管されたエビデンスをもとに、教員相互で同一試験問題が使用されていないか確認している。	再掲

**観点6-6-④ 成績に対する異議申立制度が組織的に設けられていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価結果に関する学生からの意見申立ての機会が規程等により定められていること。	◇学生からの意見申立てについて定めた規程等		
<input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	資料6-3-3-(4)-02_阿南工業高等専門学校専攻科の学業成績評価に関する規則	専攻科の学業成績評価に関する規則第14条の2において、学生は成績評価及び出欠について疑義がある場合、科目担当教員に申し出ることができる。	再掲

**6-6 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし			
------	--	--	--

--	--	--	--

**基準**

**6-7 学校の目的及びDPに基づき、公正な修了判定が実施されていること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

- 満たしている       満たしていない

**観点6-7-① 修了認定基準をDPに従って、組織として策定していること**

(根拠理由欄)

本校は2022年度にJABEE認定審査を受けている。2021年4月1日から2027年3月31日までの6年間認定された。本観点に対する評価はSである。

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学校が定める修了要件が組織的に策定されていること。  <input type="radio"/> 策定されている <input checked="" type="radio"/> 策定されていない	◇修了要件が組織的に策定されていることが確認できる資料(学則、卒業認定基準等)		

**観点6-7-② 策定された修了要件が学生に周知されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 修了認定基準が学生に周知されていること。  <input checked="" type="radio"/> 周知されている <input type="radio"/> 周知されていない	◇周知した資料(学生便覧、ウェブサイトでの明示等)		
	資料2-1-1-(1)-02_高専生活のてびき (令和7年度)	「高専生活のてびき」pp.185-187の専攻科の学業成績に関する規則第21条に修了要件を記載して周知している。	再掲
	資料5-5-1-(1)-02_「創造技術システム工学」教育プログラムおよび「特例適用専攻科」科目履修のてびき	「創造技術システム工学」教育プログラムおよび「特例適用専攻科」科目履修のてびき(P5)を用いて専攻科修了要件・JABEE修了要件および学位申請について説明している。	再掲

**観点6-7-③ 修了の認定が、修了認定基準に基づき組織的に実施されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 修了認定基準に基づき、組織として修了認定していること。  <input checked="" type="radio"/> している <input type="radio"/> していない	◇修了判定時に使用する様式等		
	資料6-7-3-(1)-01_修了判定会議資料	修了判定会議において本様式を用いて修了判定を行っている。	

**6-7 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし

**基準**

**6-8 学校の目的及びDPに基づき、適切な学習成果が得られていること**

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

- 満たしている       満たしていない

**観点6-8-① DPIに沿った学習・教育の成果を確認するための体制が整備されていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制が整備されていること。 <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)		
	資料1-2-4-(1)-10_阿南工業高等専門学校修了時アンケート実施要項	専攻科を修了する学生に対して、修了時に教育・施設等への満足度についてアンケート調査を行っている。	再掲
	資料1-2-4-(1)-11_阿南工業高等専門学校卒業生・修了生アンケート実施要項	卒業生および修了生に対して、目指す技術者像、学習教育目標の設定が適切であったか調査している。	再掲
	資料1-2-4-(1)-14_阿南工業高等専門学校企業アンケート実施要項	卒業生・修了生の就職先企業に対して、目指す技術者像、学習教育目標の設定が適切であったか調査している。	再掲
	資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	チェック体制を別表3に定めている。	再掲

**観点6-8-② 修了時の学生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(修了時アンケート、アンケート結果、会議資料等)		
	資料1-2-4-(2)-06_R6年度修了時アンケート集計結果	修了時のアンケートから様々な意見があった。一部に学習・教育到達目標(C)に対して否定的な意見があったが、おおむね良好な意見で占められていた。	再掲
	資料6-8-2-(1)-02_令和7年度第1回専攻科運営委員会議事要旨	第1回専攻科運営委員会でアンケートの集計結果を受けて、今後改善すべき点がある場合は専攻科運営委員会で検討を継続することが確認された。	再掲

**観点6-8-③ 修了後一定期間の就業経験等を経た修了生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生(修了直後でない者)に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(修了生アンケート、アンケート結果、会議資料等)		
	資料1-2-4-(2)-08_卒業生・修了生アンケート集計結果	令和6年度の卒業生・修了生アンケート集計結果	再掲

**観点6-8-④ 就職先等からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生の就職・進学先の関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(就職・進学先アンケート、アンケート結果、会議資料等)		
	資料1-2-4-(2)-10_企業アンケート集計結果	本校で開催する企業研究セミナーに参加する企業を主に、アンケートを実施している。	再掲

**6-8 特記事項** この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

該当なし

<b>基準</b> 6-9 APが具体的かつ明確であること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
<b>観点6-9-① APが学校の目的を踏まえて明確に定められていること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)関係法令やガイドラインを踏まえ、APが定められていること。 <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇専攻科課程のAP 資料6-9-1-(1)-01_専攻科アドミッション・ポリシー	ガイドラインに沿って専攻科学生の受け入れに関する基本方針をアドミッション・ポリシーに定めている。	
(2)APが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須) <input checked="" type="checkbox"/> 入学者選抜の基本方針 <input checked="" type="checkbox"/> 求める学生像(受け入れる学生に求める学習成果を含む。)	◇専攻科課程のAP 資料6-9-1-(1)-01_専攻科アドミッション・ポリシー	専攻科アドミッション・ポリシーにおいて「1. 求める人物像」および「2. 入学者選抜の基本方針」を示している。	再掲
<b>6-9 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			
<b>基準</b> 6-10 学生の受け入れが適切に実施されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
<b>観点6-10-① APに沿って適切な受入方法が採用されており、実施体制により公正に実施されていること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲

(1) AP、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法(学生募集の方針、選抜区分(学力選抜、推薦選抜等。)、面接内容、配点・出題方針その他)となっていること。 <input checked="" type="radio"/> なっている <input type="radio"/> なっていない	◇選抜区分ごとの入学者選抜募集要項、面接要領、合否判定基準、合否判定様式、入学試験実施状況等が確認できる資料(議事要旨等)		
	資料6-10-1-(1)-01_専攻科学生募集要項入学案内	専攻科学生募集要項・入学案内において、専攻科のアドミッション・ポリシー(p.13)、選抜方法(p.2)、面接内容等(推薦による選抜p.5、学力による選抜p.9、AOによる選抜p.12)を記載している。	
	資料6-10-1-(1)-02_推薦面接(口頭試問)要項	専攻科推薦入試の面接要項である。	
	資料6-10-1-(1)-03_【非公表】推薦、選抜基準	専攻科推薦入試の選抜基準を示している。	
	資料6-10-1-(1)-04_推薦成績一覧(会議資料_最終)	専攻科推薦入試の成績一覧の様式である。	
	資料6-10-1-(1)-05_R6第2回臨時運営委員会議事概要R6.5.20	専攻科推薦入試の実施結果を運営委員会(審議3)で承認している。	
	資料6-10-1-(1)-06_学力_面接要項	専攻科学力入試の面接要項である。	
	資料6-10-1-(1)-07_【非公表】学力選抜基準	専攻科学力入試の選抜基準を示している。	
	資料6-10-1-(1)-08_学力成績入力一覧(会議資料)	専攻科学力入試の成績一覧の様式である。	
	資料6-10-1-(1)-09_R6第3回臨時運営委員会議事概要R6.6.24	専攻科学力入試の実施結果を運営委員会(審議1)で承認している。	
	資料6-10-1-(1)-10_AO選抜検査面接(プレゼン)要項	専攻科AO選抜入試の面接要項である。	
	資料6-10-1-(1)-11_【非公表】R07 AO検査選抜基準	専攻科AO選抜入試の選抜基準を示している。	
	資料6-10-1-(1)-12_AO成績入力一覧(会議資料_最終)	専攻科AO選抜入試の成績一覧の様式である。	
資料6-10-1-(1)-13_R6第4回臨時運営委員会議事概要R6.10.21	専攻科AO選抜入試の実施結果を運営委員会(審議1)で承認している。		

**観点6-10-② APに沿った学生の受入れが実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果が入学者選抜の改善に役立てられていること**

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制が整備されていること。 <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)		
	資料1-1-1-(2)-04_阿南工業高等専門学校専攻科運営委員会規則	専攻科に関する運営、教育、その他については専攻科運営委員会で審議する体制になっている。	再掲
	資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	別表3にチェック体制を示している。	再掲
(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、APに沿っているかどうかの検証が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇検証した資料(会議資料等)		
	資料6-10-2-(2)-01_R6第12回専攻科運営委員会議事要旨	専攻科運営委員会において、専攻科生全員が特別研究論文の提出を許可され、APの見直しの必要がないことを確認している。	
(3) (2)の検証の結果が入学者選抜の改善に役立てられていること。 <input checked="" type="radio"/> 役立てられている <input type="radio"/> 役立てられていない	◆検証の結果に基づいた具体的な改善の実施状況を踏まえて、検証の結果が改善に役立てられている状況について、資料を基に記述する。		
	資料6-10-2-(3)-01_R3第6回専攻科運営委員会議事要旨	(a)国際人としての教養を持つ人を求めるアドミッション・ポリシーに鑑みて、専攻科入試の英語の最低ラインの見直しを行った。	
	資料6-10-2-(3)-02_令和5年度入試評価方法及び選抜基準	上記のように専攻科入試の英語の最低ラインを改訂した。	

**6-10 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。**

該当なし

<b>基準</b>			
<b>6-11 実入学者数が適切な数となっていること</b>			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
◎ 満たしている      ○ 満たしていない			
<b>観点6-11-① 実入学者数が適切な数となっていること</b>			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 収容定員(又は入学定員)が専攻ごとに学則等で定められていること。 ◎ 定められている      ○ 定められていない	◇学則の該当箇所		
	資料1-1-1-(2)-01_阿南工業高等専門学校学則	学則第29条の1で専攻科の入学定員16人、収容定員32人と定めている。	再掲
(2) 専攻ごとの入学定員(収容定員を定めている場合は、収容定員を2で除した数)と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制が整備されていること。 ◎ 整備されている      ○ 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)		
	資料1-1-1-(2)-04_阿南工業高等専門学校専攻科運営委員会規則	専攻科に関する運営、教育、その他については専攻科運営委員会で審議する体制になっている。	再掲
	資料1-1-1-(1)-02_阿南工業高等専門学校の内部質保証に関する実施要項	別表3でチェック体制を示している。	再掲
(3) 過去5年間の専攻科全体の実入学者数が適切であること。 ◎ 適切である      ○ 適切ではない	◇【様式2-2】平均入学定員充足率計算表	最近5年間の入学定員に対する実入学者数の平均比率は1.09で、適切である。	再掲
	◆入学定員が定められている専攻科において、実入学者数が入学定員をから大幅に乖離(かいり)している場合には、学校としてその状況を把握、分析した上で、教職員の配置、教育研究施設・設備等の整備がなされていること、また適切な教育成果が上がっていることを確認する。		
<b>6-11 特記事項</b> この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
該当なし			

領域6

優れた点

本校専攻科は日本技術者教育認定機構より2021年から2027年までの6年間のJABEE認定を受けている。最近5年間に於いて専攻科に入学した学生は全員修了し、専攻分野に関連した企業または大学院へ就職または進学している。また、すべての学生が学位の取得し、JABEE修了も果たしている。			
	資料1-2-4-(2)-12_JABEE技術者教育プログラム認定審査結果報告2021-2027	日本技術者教育認定機構によるJABEE認定に関する受審結果。	再掲
<b>改善を要する点</b>			
該当なし			